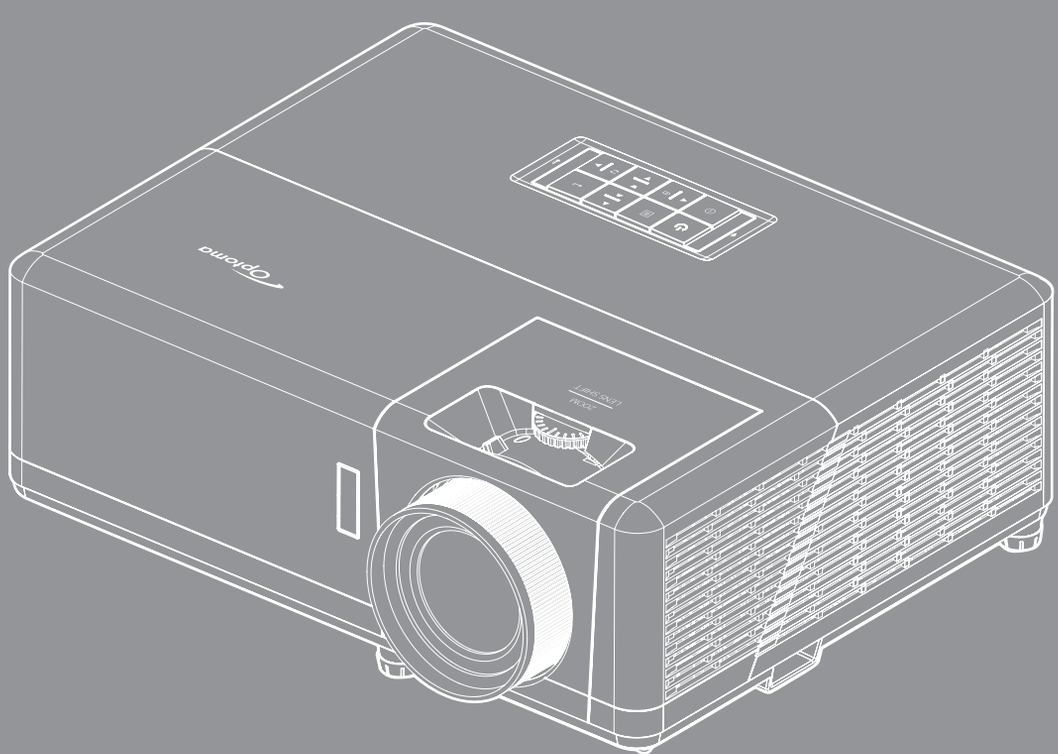
4K UHD DLP レーザープロジェクター

UHZ50+

取扱説明書



4K ULTRA HD HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE DLP TEXAS INSTRUMENTS 4K UHD HDR COMPATIBLE

目次

安全上のご注意 4

安全上のご注意 4
レーザー放射安全情報 5
レンズの清掃 6
3D 安全情報 6
著作権 7
免責条項 7
商標権 7
FCC 8
EU 諸国に対する適合宣言 8
WEEE 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリー 9
製品の各部名称 10
接続 11
キーパッド 12
リモコン 13

設定と設置 14

プロジェクターの設置 14
ソースをプロジェクターに接続する 16
投写画像の調整 17
リモコンの準備 18
有効範囲 19

プロジェクターを使用する 20

プロジェクターの電源を入れる/切る 20
入力ソースを選択する 23
ホーム画面の概要 24
システム日時 24
プロジェクター設定メニュー (OSD) 25
OSD メニューツリー 26
ディスプレーメニュー 32
オーディオメニュー 38
設定メニュー 39
情報メニュー 42
システム設定メニュー 43
入力ソースを選択する 50
アプリの選択 51
サポートするマルチメディア形式 55

ステータスバーの表示 *59*
Alexa/Google Assistant *59*

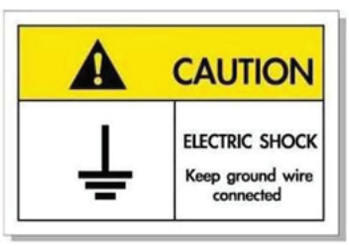
追加情報 60

対応解像度 *60*
イメージサイズと投写距離 *65*
プロジェクターの寸法と天井取り付け *66*
IR リモコンコード *67*
故障かなと思ったら *68*
警告インジケーター *69*
仕様 *72*
memo *73*

使用上のご注意

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の本体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユ ーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス (修理点検など) に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全上のご注意

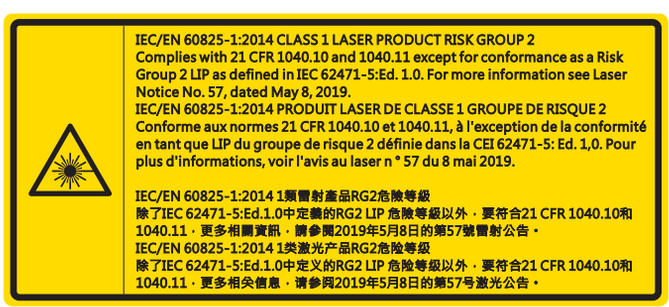
- 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
  注）：火事や感電の原因になります。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。
  注）：危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 5° C ～ 40° C の範囲に保たれていることを確認します。
    (ii)相対湿度は 10% ～ 85% の範囲です。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは次のような場合をいいます。 (但し、これは一部の例です。)：
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。
  注）：プロジェクターが落下してけがの原因となるか、または機器が破損する恐れがあります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから出る光線を遮らないでください。
  注）：光がプロジェクター本体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。

使用上のご注意

- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。
  注）：感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。
  注）：カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。
- 本機を修理に出す前に、テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- 安全に関係する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたスタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。
  注）：強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。
  注）：プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- プロジェクターが汚れた場合は薄めた中性洗剤を含ませた布で軽く拭いた後、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  注）：本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。
  注）：長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。
  注）：プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。
  注）：標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。
  注）：停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レーザー放射安全情報

- 本プロジェクターは、IEC 60825-1:2014 のクラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2 として分類され、IEC 62471:5:Ed. 1.0 で定義されているリスクグループ 2、LIP (レーザー照明プロジェクター) として 21 CFR 1040.10 および 1040.11 にも準拠しています。







- あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。

使用上のご注意

- お子様については、プロジェクターからの光線はどんな距離からでも見つめさせないようにしてください。
- プロジェクターのレンズ前でリモコンを操作してプロジェクターを起動させる場合は、特にご注意ください。
- ユーザー各位は、光線経路に双眼鏡や望遠鏡などの光学機器を使用しないようにご注意ください。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲にいる人がレンズを見ていないことを確認してください。
- レーザー光路に物 (拡大鏡など) を置かないでください。
  注）：レンズから投写される光路は広範囲であるため、レンズから出てくる光の方向を変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
- 取扱説明書に具体的に記載されていない操作または調整は行わないでください。
  注）：危険なレーザー放射にさらされる危険性があります。
- プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
  注）：レーザー放射の曝露によって負傷することがあります。
- プロジェクターの電源が入っているときに、光線を見つめないでください。
  注）：明るい光によって、目に永続的な障害が生じる恐れがあります。

コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー放射によって、負傷する恐れがあります。

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ずプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いて本体の温度が完全に下がるのを待ってください。
- ホコリを取り除くには、圧縮空気スプレーをご使用ください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズは素手で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性洗剤またはアルコール等の揮発性溶剤を使用しないでください。

※　清掃処理により、レンズが損傷した場合は、保証の対象外となります。

警告：レンズからホコリや汚れを取るのに、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。
プロジェクター内部の過度な熱により、火災が発生する可能性があります。

警告：プロジェクターがウォームアップ中は、レンズ清掃を行わないでください。
レンズ表面のフィルムが剥がれる恐れがあります。

警告：硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

3D 安全情報　※

推奨されるすべての警告と安全上のご注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、 (8) 痙攣、 (9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。
  幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。お子様については、これらの症状が出ていないかお尋ねください。

※　**日本モデルは3Dに対応していません。**

使用上のご注意

- 3D投写の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って3D投写を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D投写の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D眼鏡のご使用はお止めください。
- その他の目的(通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど)のための3D眼鏡の着用は、肉体的障害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D投写の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の側に3Dプロジェクターを設置しないでください。

著作権

この取扱説明書は、全ての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。この取扱説明書に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしでに複製することはできません。

© 著作権 2023

免責条項

本書の情報は予告なしに変更されることがあります。製造元は記載内容を代表、または保証することはありませんし、また商業性の暗黙の保証および特定の目的への適合性に関しての責任は負いかねます。製造元は当出版物の内容に関して時に応じて変更する権利を有し、またそのバージョンや変更に関する通知の義務は一切持たないものとします。

商標権

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界における各地の登録済または登録申請中のものも含まれます。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

使用上のご注意

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために規定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。
しかし、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビ受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオン・オフしてみます。受信障害が発生している場合は。以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。：

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店や資格のある無線/テレビ技術者へお問い合わせ。

注意：シールド付きケーブル

その他コンピューターデバイスへのすべての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールド付きケーブルを使用して行ってください。

注意

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます：

1. 電波障害を起こさないこと。
2. 本装置は誤作動の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

注意：カナダにお住まいのユーザー様

当クラス B デジタル機器は、カナダ規制 ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国に対する適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

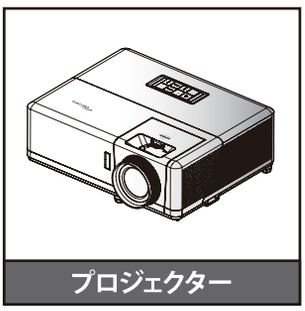
この電子デバイスを処分する際は、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。

はじめに

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、標準アクセサリー一覧に記載されている品目が揃っていることを確認してください。
欠けているものがある場合は販売店もしくはテクニカルサポートセンターまでご連絡をお願い致します。

標準アクセサリー



プロジェクター



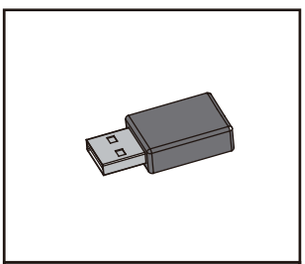
IR リモコン



電源ケーブル

取扱注意書
（QRコード）

文書



Wi-Fi ドングル

FCC ID:2AQJT-EZC5201BS
For project use oniy

R-R-2Ad-EZC-5201BS

79947/SDPPI/2022
7731

211-211112

CCAP22LP0200T7

HIDF15000383

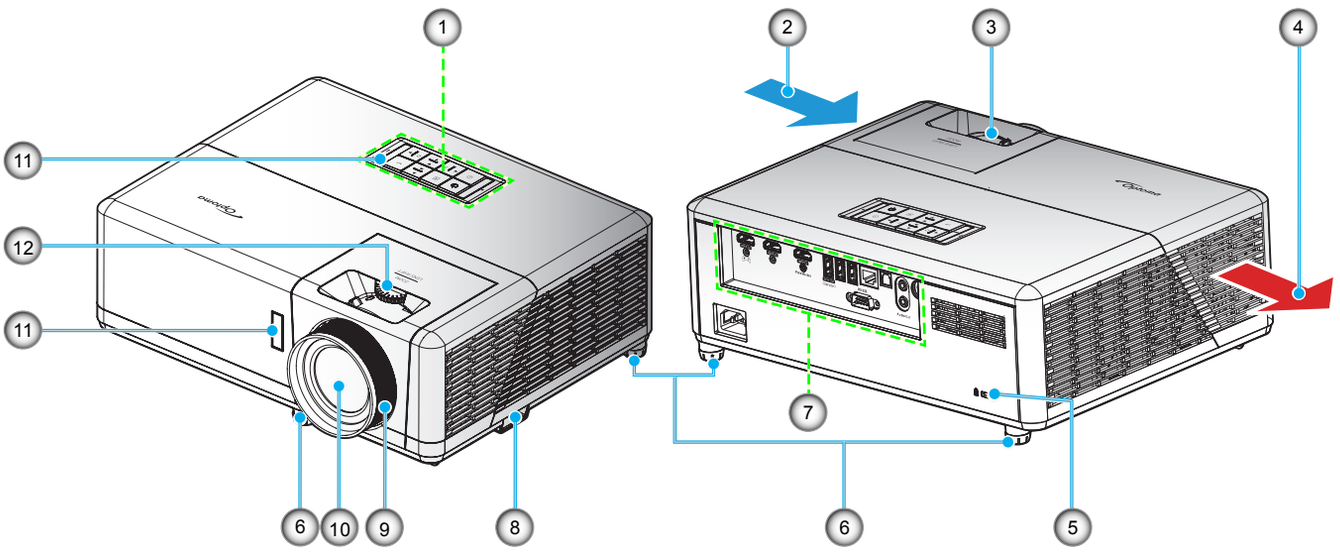
Complies with
IMDA Standards
DB106057

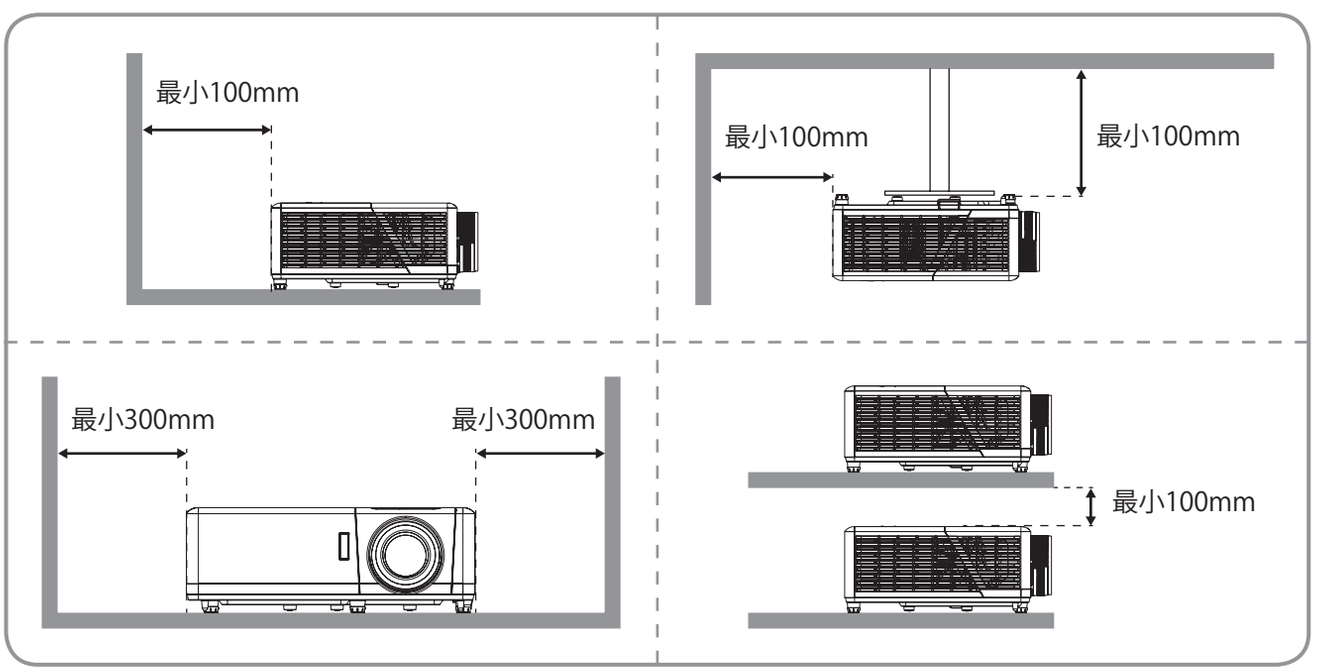
- Wi-Fiドングルは本機専用です。
- Wi-Fiドングルを破損もしくは紛失された場合は販売店もしくはテクニカルサポートセンターまでお問い合わせ下さい。

注記：市販品の無線LANアダプター等はご使用になれませんのでご注意ください。

はじめに

製品の各部名称





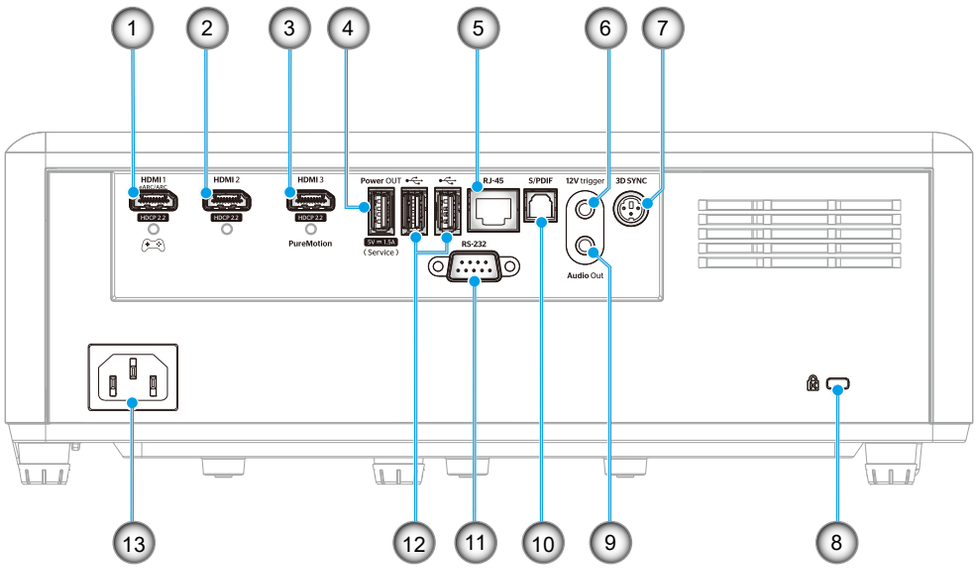
注記:

- *プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。*
- *プロジェクターを閉鎖したスペースで動作させる場合、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。*

番号	項目	番号	項目
1.	キーパッド	7.	入/出力
2.	換気 (吸気口)	8.	セキュリティ バー
3.	ズームレバー	9.	フォーカス リング
4.	換気 (排気口)	10.	レンズ
5.	Kensington™ ロックポート	11.	IR レシーバー (前方および上部)
6.	チルト調整フット	12.	レンズシフトダイアル

はじめに

接続

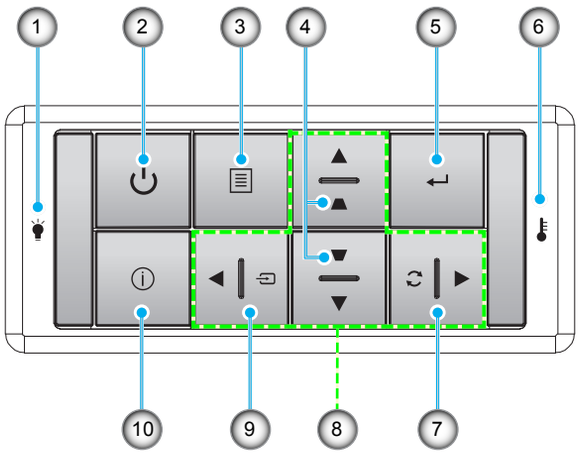


番号	項目
1.	HDMI 1 入力　(V2.0 (eARC/ARC出力))
2.	HDMI 2 入力　(V2.0)
3.	HDMI 3 入力　(V2.0 (Pure Motion))
4.	USB 給電出力 (5V -1.5A)
5.	RJ-45 端子
6.	12V トリガー出力
7.	3D 同期出力

番号	項目
8.	Kensington™ ロック ポート
9.	オーディオ出力
10.	S/PDIF 端子
11.	RS232
12.	USBポート
13.	電源ソケット

はじめに

キーパッド

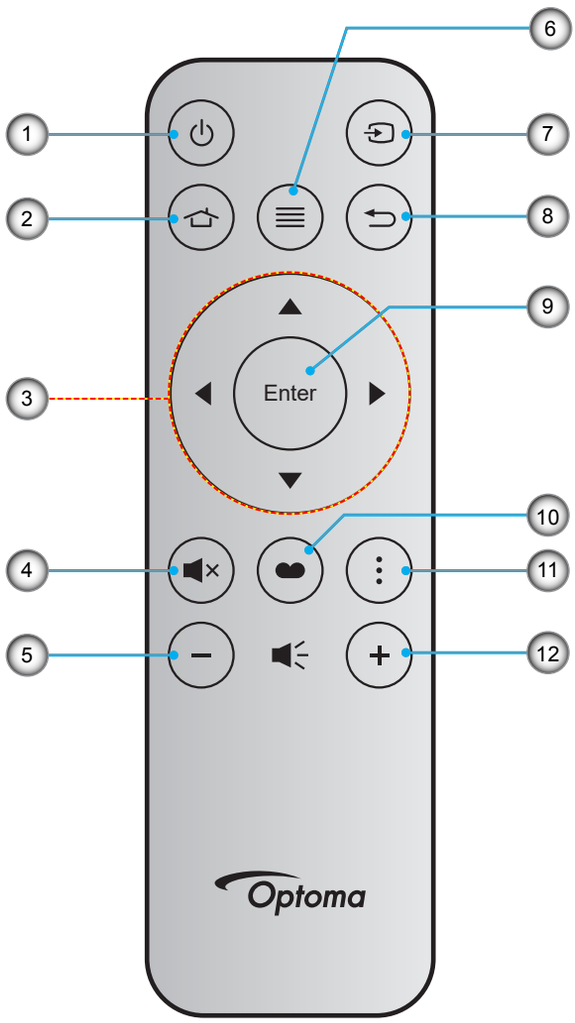


番号	項目	番号	項目
1.	光源 LED	6.	温度 LED
2.	電源および消費電力 LED	7.	再同期
3.	メニュー	8.	4 方向選択キー
4.	キーストン補正	9.	ソース
5.	入力	10.	情報

注記: *キーパッドで操作できない場合はリモコンをご使用ください。*

はじめに

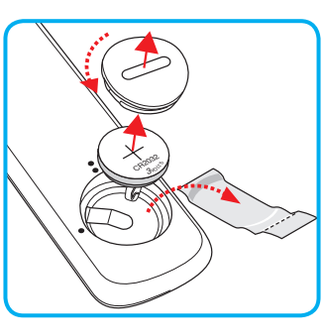
リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン/オフ	7.	ソース
2.	ホーム	8.	戻る
3.	4 方向選択キー	9.	入力
4.	ミュート	10.	ディスプレーモード
5.	音量 -	11.	アプリメニュー
6.	メニュー	12.	音量 +

注記:

- *これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。*
- *初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。電池の取り付けについては、18ページを参照してください。*

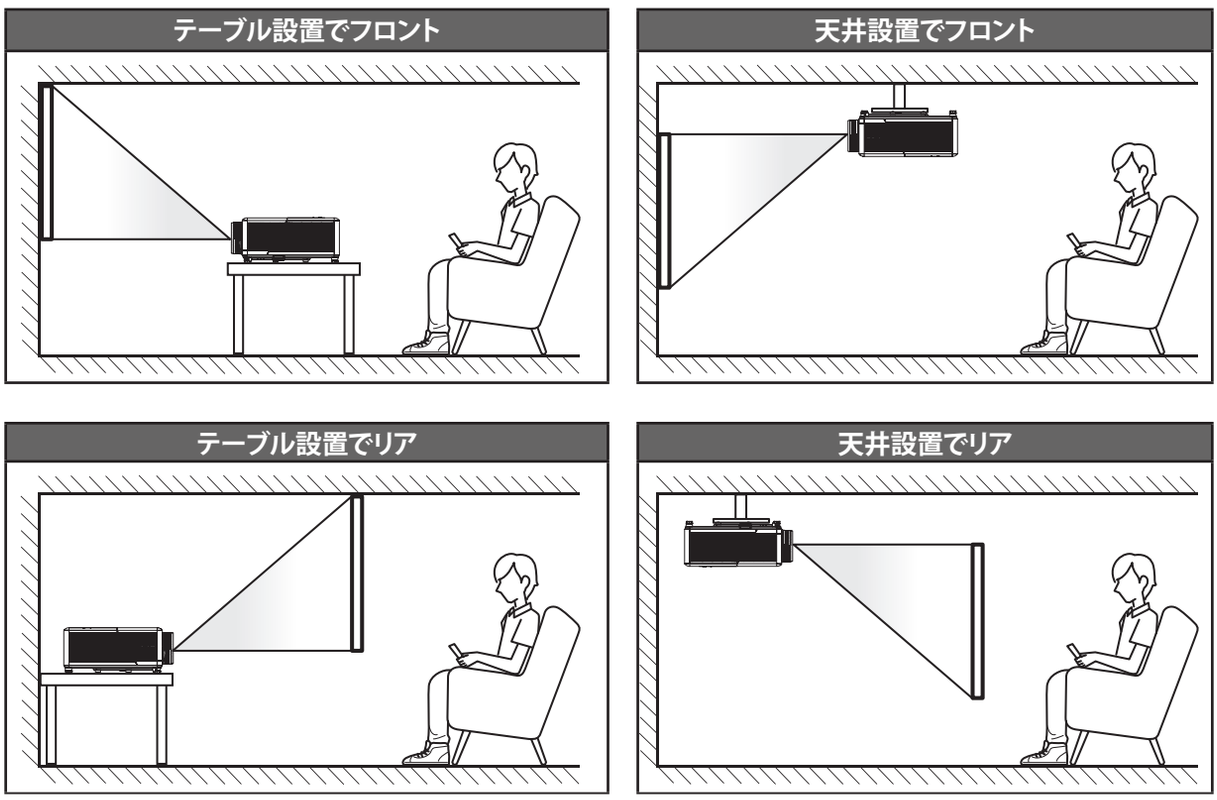


設定と設置

プロジェクターの設置

このプロジェクターは4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

お部屋のレイアウトやお好みによって設置方法を決めることができます。
スクリーンのサイズと場所、コンセントの場所、プロジェクターやその他の装置の位置と距離を考慮してください。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

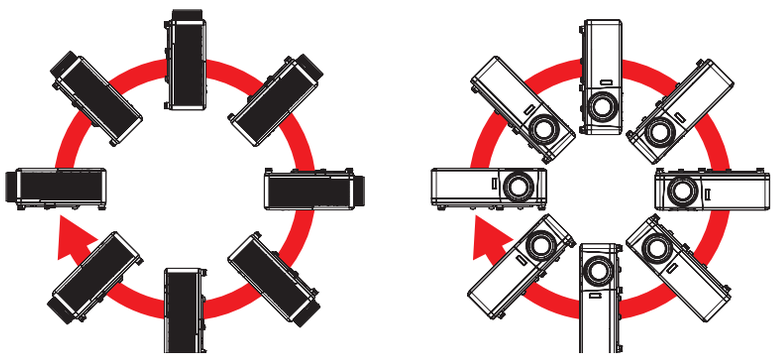
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*65*ページの投写距離表をご参照ください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*65*ページの投写距離表をご参照ください。

注記： *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

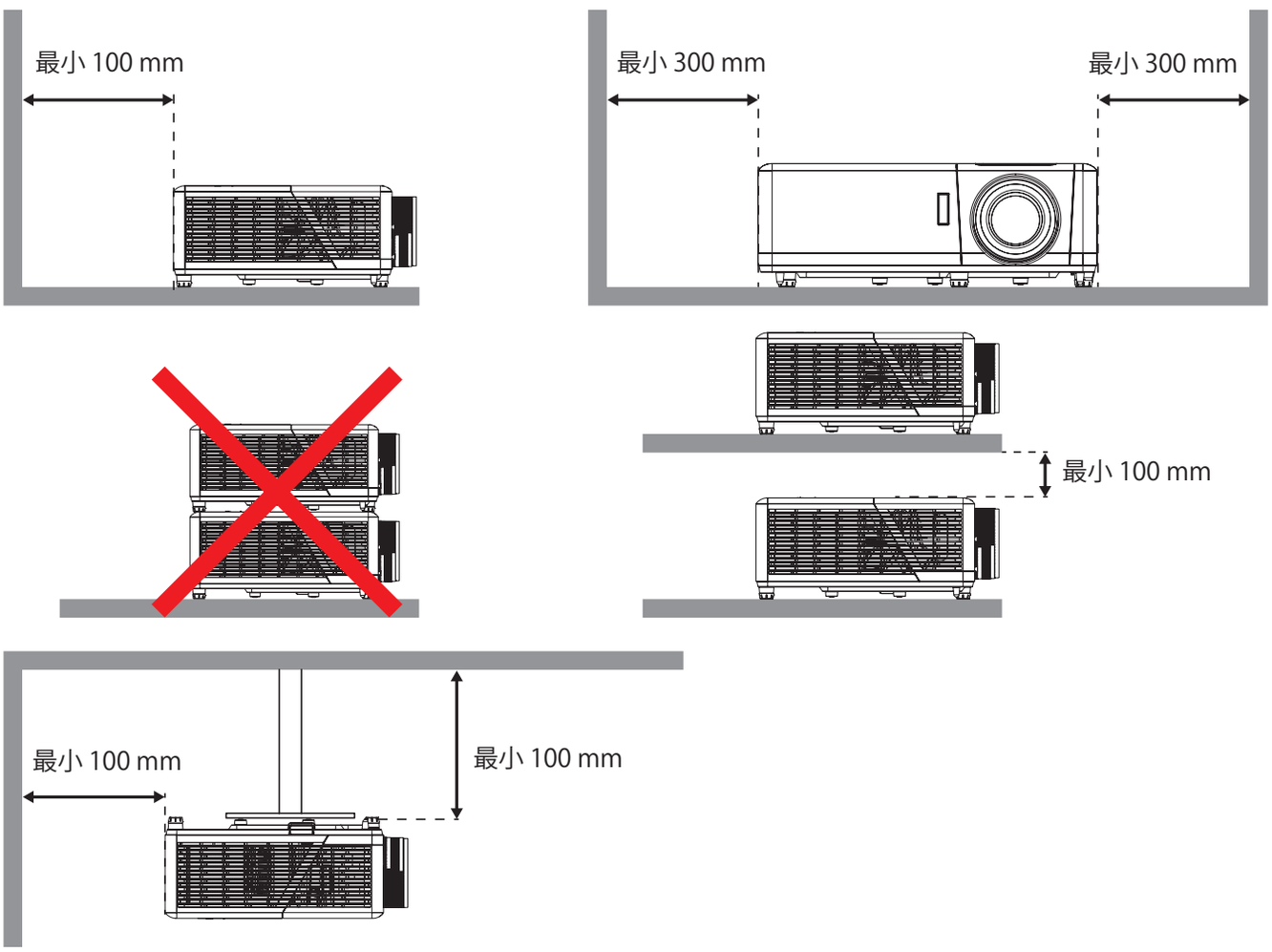
設定と設置

プロジェクター設置のご注意

- 360° の自由方向操作



- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



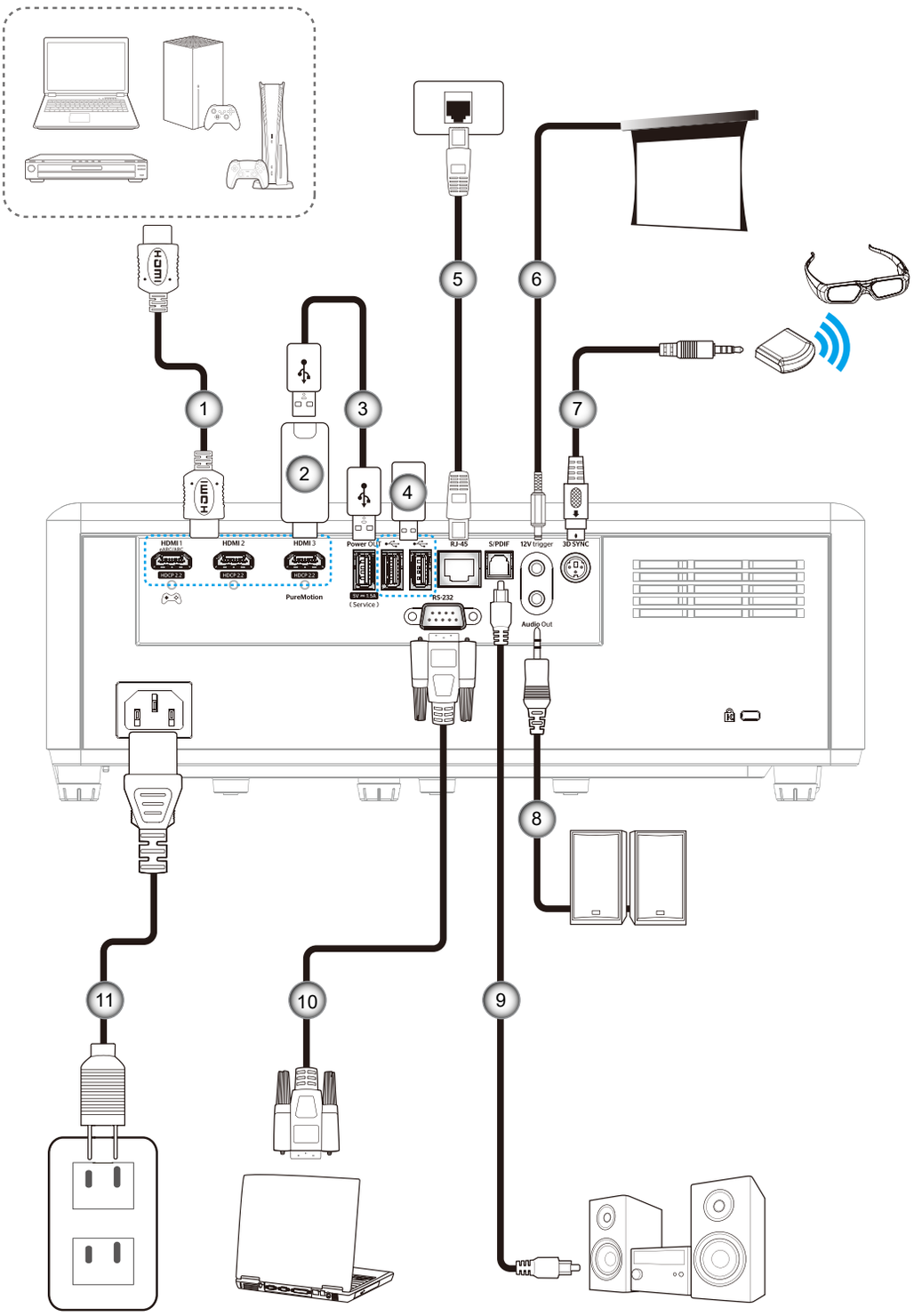
- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- プロジェクターを囲いの中で使用する場合は、プロジェクターが動作している間に、囲いの中の温度が許容範囲を超えないようにし、また、吸気口と排気口がふさがれないように注意してください。
- すべての囲いが適切に放熱でき、排気が循環しないようにしてください。これが守られない場合、囲い内の温度が動作範囲内であっても、装置が自動的にシャットダウンする可能性があります。
- ホコリが多い環境でご使用の場合など、環境や使用条件によってはホコリが吸気口付近にたまることがあります。それにより、本機内部の送風・冷却・排熱の循環が悪化し、明るさ低下や破損につながる恐れがあります。

お手入れについて

- 吸気口/排気口のほこりを半年から1年を目安に清掃してください。
- 内部清掃に関してはテクニカルサポートセンターにご相談ください。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	HDMI ケーブル
2.	HDMI ドングル
3.	USB 電源ケーブル
4.	USB ディスクドライブ

番号	項目
5.	RJ-45 ケーブル
6.	12V DC ジャック
7.	3D エミッターケーブル
8.	オーディオ出力ケーブル

番号	項目
9.	S/PDIF 出力ケーブル
10.	RS-232 ケーブル
11.	電源コード

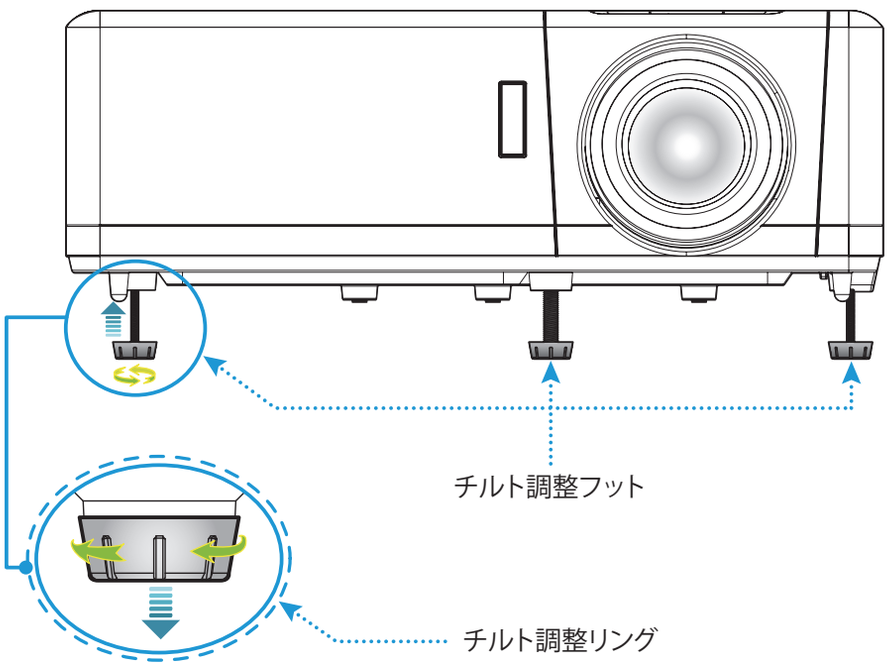
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

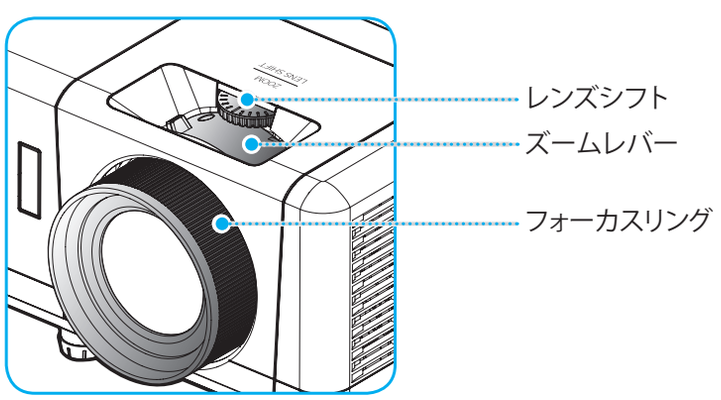
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズーム、レンズシフト、および、フォーカス

- 画像の大きさおよび位置を調整するには、以下を行ってください。
  a. 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像を大きくしたり小さくします。
  b. 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイアルを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像の位置を水平方向に調整します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



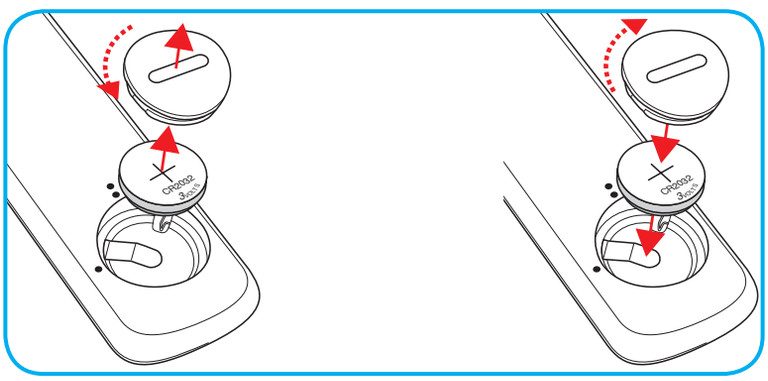
注記： *このプロジェクターは 1.2m ～ 8.1m の距離でピントを合わせることができます。*

設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け/交換

1. カバーが開くまでコインを使用して、電池カバーを反時計回りに回します。
2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。
   古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2032)。「+」のある面を必ず上に向けてください。
3. カバーを元のように取り付けます。次にコインを使用して、電池カバーを時計回りに回して、所定の位置に固定します。



注意事項：

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2032 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。

警告：電池を口に入れたり飲み込んだりしないでください。化学火傷の危険があります。

- この製品には、コイン/ボタン電池が含まれています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、わずか2 時間で重度の火傷を負い、死亡する可能性があります。

警告：新品および使用済みの電池は、お子様の手の届かないところに保管してください。

- バッテリーコンパートメントがしっかり閉まらない場合は、使用を中止し、お子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体のどこかに入ったと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

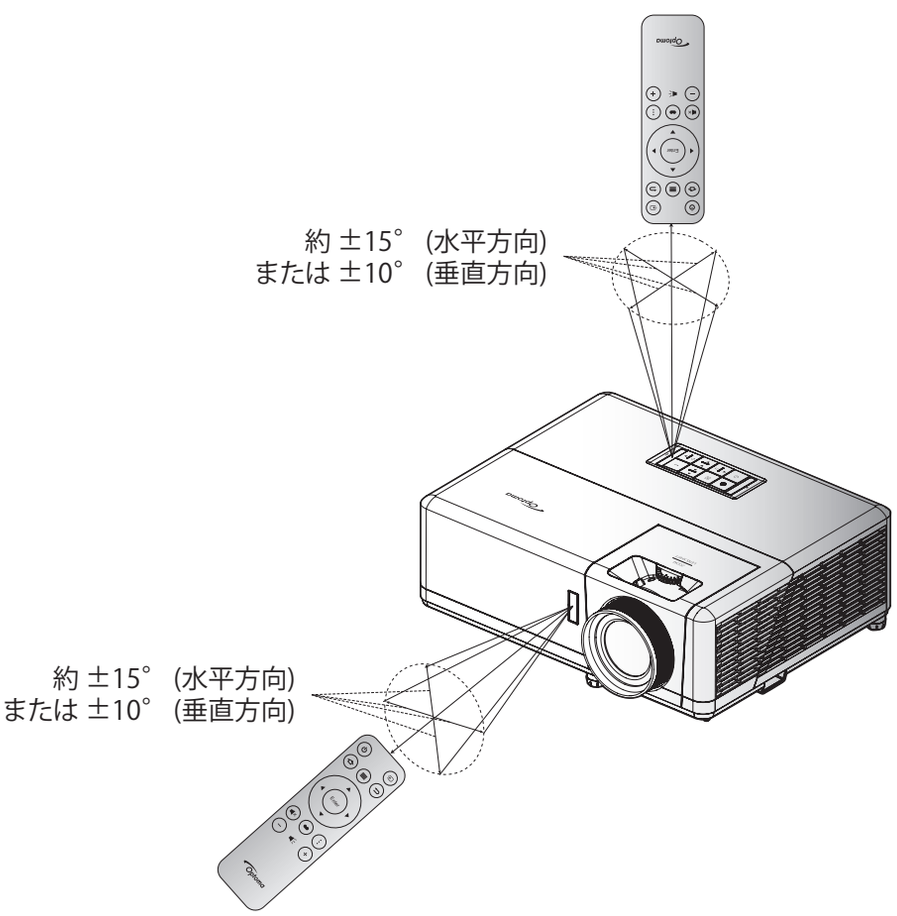
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度 (水平) または 20 度 (垂直) 以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 7 メートル以内にする必要があります。

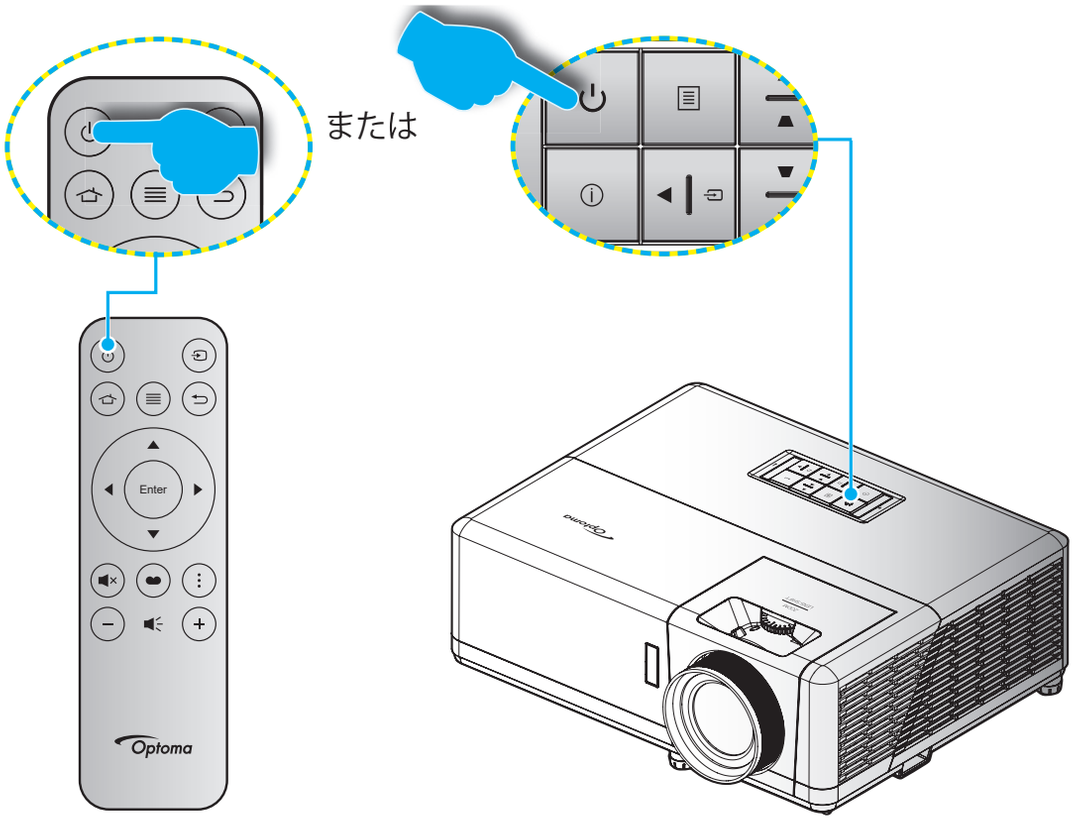
注記：*IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、10 メートルを超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 7 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



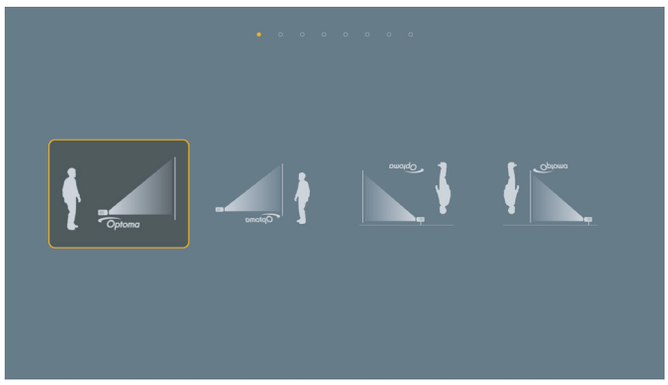
電源オン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの[⏻]を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が青色に点滅します。

注記： *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を選択するように求められます。*

プロジェクターを使用する

初めてプロジェクターの電源を入れると、投写方向、使用言語、ネットワーク設定を含む初期設定を行うように求められます。***設定完了!***画面が表示されたら、これはプロジェクターが使用できる状態であることを示します。



[投写画面]



[言語画面]



[フォーカス調整画面]



[Wi-Fi ドングル設置画面]



[ネットワーク画面]



[日時画面]



[規制画面]

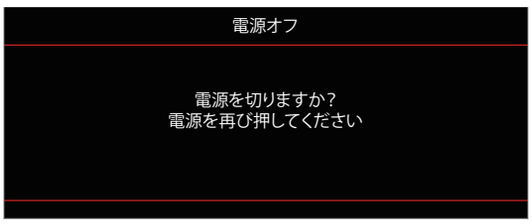


[Optoma Connect 画面]

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
2. 次のメッセージが表示されます。



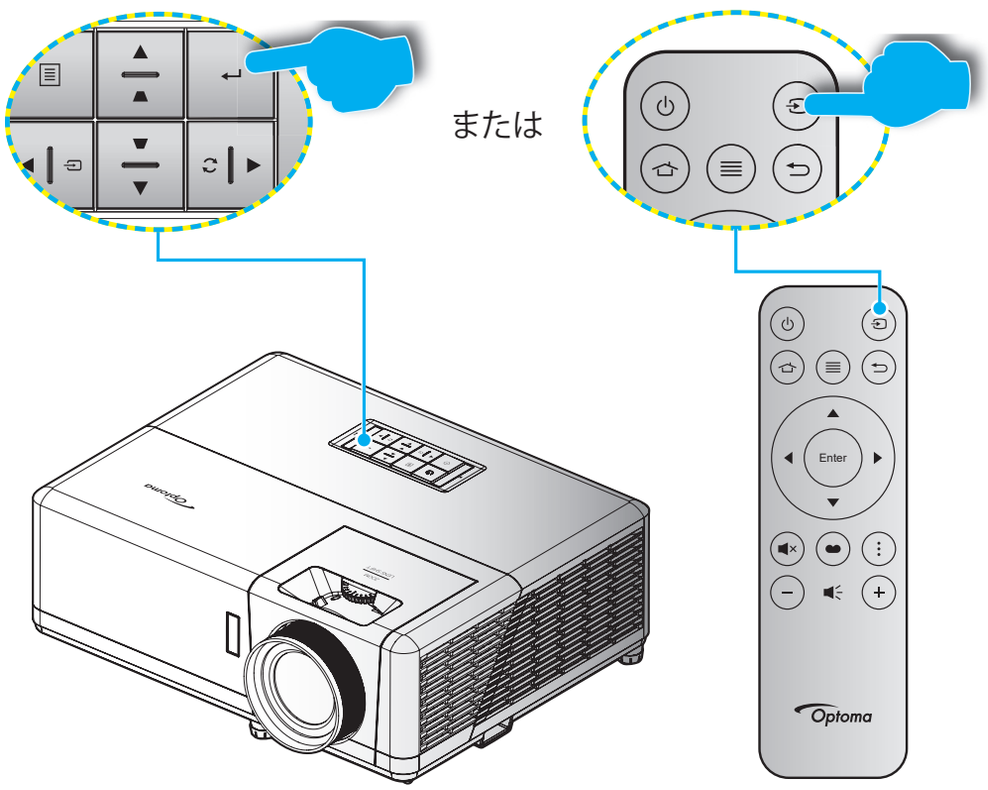
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。
   2 回目に[⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが青に点滅します。オン/スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。
   プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記： *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。
プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [ ] ボタンを押し、入力を選択します。

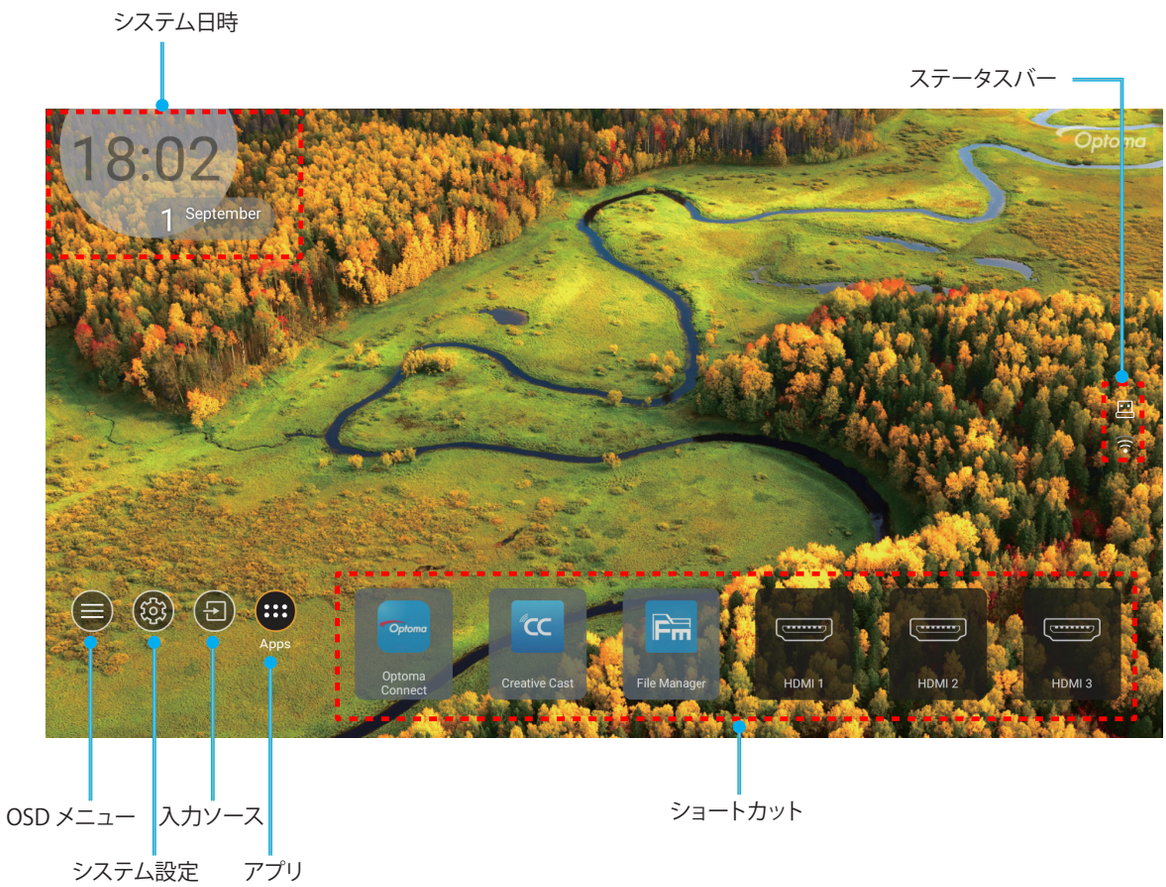


プロジェクターを使用する

ホーム画面の概要

プロジェクターを起動するとホーム画面が表示されます。システム日時、システムステータス、OSD メニューにアクセスするためのアイコン、プロジェクター設定メニュー、アプリ、入力ソースなどが含まれます。
ホーム画面をナビゲートするには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「 」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



注記： *例えば、上図の「アプリ」のように、選択されたメニューまたは項目がオレンジ色にハイライト表示されます。*

システム日時

プロジェクターがネットワークに接続されると、ホーム画面に日時が表示されます。デフォルト設定は、10:00am、2019/01/01 です。24 時フォーマットがオフの場合のみ、AM/PM が表示されます。

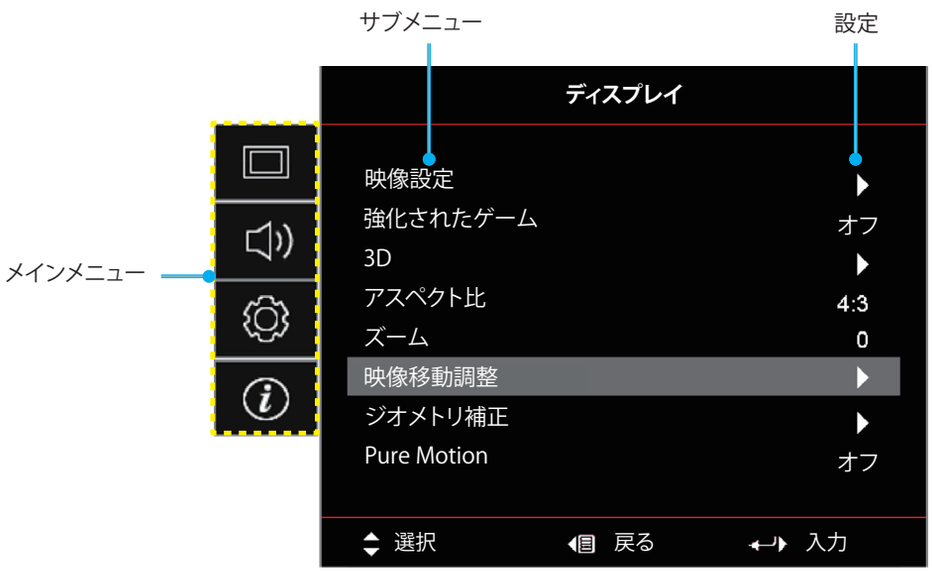
日時パラメーターを変更するには、画面の対応するフィールドを選択してください。日時設定ページが自動的に開きます。次に、変更してください。

プロジェクターを使用する

プロジェクター設定メニュー (OSD)

リモコンまたはホーム画面の「≡」を押して、OSD メニュー「」を選択して、プロジェクター情報を確認するか、画像、ディスプレイ、3D、オーディオ、設定に関連するさまざまな設定を管理してください。

一般的なメニューのナビゲーション



1. OSD が表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定のページを選択している間に、「**OK**」を押して、サブメニューに入ってください。
2. 「**左**」および「**右**」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「**OK**」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「**上**」および「**下**」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「**OK**」ボタンを押して、設定を有効または無効にし、「**左**」および「**右**」ボタンを押して、値を調整してください。
5. サブメニューから次に調整する項目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
6. 終了するには、「　」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

注記： OSDメニューの項目は製品の性能を向上させるために通知なしに項目を追加、または削除する場合があります。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	ディスプレーモード			シネマ
					HDR
					HLG
					HDR SIM.
					ゲーム
					リファレンス
					ブライト
					ユーザー
					3D ※ 1
					ISF 昼 ※ 2
					ISF 夜 ※ 2
					ISF 3D ※ 2
		壁色補正			オフ [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
		ダイナミックレンジ	HDR/HLG		オフ
					自動 [デフォルト]
			HDRモード		ブライト
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					Detail
			HLG Picture Mode		ブライト
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					Detail
			HDR Brightness		0 ～ 10
		輝度			-50 ～ 50
		コントラスト			-50 ～ 50
		シャープネス			1 ～ 15
		色の濃さ			-50 ～ 50
		色あい			-50 ～ 50

※ 1　日本モデルは3Dに対応していません。
※ 2　ISFメニューをご使用になる場合はP32をご参照ください。

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	ガンマ			フィルム
					ビデオ
					グラフィック
					標準 (2.2)
					1.8
					2.0
					2.4
					3D
		色設定	BrilliantColor™		1 ～ 10
			色温度		Warm
					標準 [デフォルト]
					クール
					Cold
			カラーマッチング	色の濃さ	赤
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白
				色あい / R	-50 ～ 50 [デフォルト：0]
				彩度 / G	-50 ～ 50 [デフォルト：0]
				ゲイン / B	-50 ～ 50 [デフォルト：0]
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			RGB ゲイン/ バイアス	赤ゲイン	-50 ～ 50
				緑ゲイン	-50 ～ 50
				青ゲイン	-50 ～ 50
				赤バイアス	-50 ～ 50
				緑バイアス	-50 ～ 50
				青バイアス	-50 ～ 50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			カラースペース (非 HDMI 入力)		自動 [デフォルト]
					RGB
					YUV
			カラースペース (HDMI 入力)		自動 [デフォルト]
					RGB (0 ～ 255)
					RGB (16 ～ 235)
					YUV

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	ブライトネスモード			ダイナミックブラック
					エコ
				定電力モード	消費電力 = 100%/95%/90%/85%/ 80 %/75%/70%/65%/60%/55%/50%
				定輝度モード	消費電力=85%/80%/75%/70%
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
	Enhanced Gaming				オフ [デフォルト]
					オン
	3D	3Dモード			オフ
					オン
		3D 同期反転			オン
					オフ [デフォルト]
	アスペクト比				4:3
					16:9
					21:9
					32:9
					V-stretch
					Full screen
					自動
	ズーム				-5 ～ 25 [デフォルト：0]
	映像移動調整	映像水平位置			-100 ～ 100 [デフォルト：0]
		映像垂直位置			-100 ～ 100 [デフォルト：0]
	ジオメトリ補正	4コーナー			
		水平キーストン			-30 ～ 30 [デフォルト：0]
		垂直キーストン			-30 ～ 30 [デフォルト：0]
		自動キーストン			オフ
					オン [デフォルト]
		3x3 Warp			
		リセット	全てリセット		キャンセル [デフォルト]
					OK
	Pure Motion	Pure Motion			オフ
					1
					2
					3 [デフォルト]
	Brilliant Contrast	Brilliant Contrast			オン
					オフ [デフォルト]
オーディオ	Audio Mode				Speaker/Audio out [デフォルト]
					SPDIF / eARC
	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	音量				0 ～ 10 [デフォルト：5]
	Digital Output Format				Bitstream
					PCM
					自動 [デフォルト]
	オーディオ ディレイ	オーディオ ディレイ			-50 ～ 50 [デフォルト：0]

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	設置モード				フロント  [デフォルト]
					リア 
					天井-上部 
					リア-上部 
	電源設定	電源検知オート パワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号検知オート パワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		タイマー電源 オートパワーオフ			0～180 (5分刻み) [デフォルト：20]
		スリープタイマー (分)			0～990 (30分刻み) [デフォルト：0]
			常にON		いいえ [デフォルト]
					はい
		電源モード (スタンバイ)			アクティブ (Smart Home)
					エコ [デフォルト]
		USB Power (Standby)			オフ [デフォルト]
					オン
	セキュリティ	セキュリティ			オフ
					オン
		セキュリティ タイマー	月		
			日		
			時		
		パスワード変更			[デフォルト：1234]
	HDMI Link設定	HDMI Link			オフ [デフォルト]
					オン
		モニター連動			いいえ [デフォルト]
					はい
		電源オン設定			双方向設定 [デフォルト]
					プロジェクター→機器
					機器→プロジェクター
		電源オフ設定			オフ [デフォルト]
					オン
	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白グリッド
					白
					オフ
	リモコン設定	リモコン受光設定			オン [デフォルト]
					オフ
	プロジェクターID				0～99

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	12V トリガ				オン
					オフ [デフォルト]
	オプション	言語			English [デフォルト]
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					繁體中文
					簡体中文
					日本語
					한국어
					Русский
		メニュー設定	メニュー位置		左上
					右上
					中央 [デフォルト]
					左下
					右下
			メニュータイマー		オフ
					5秒
					10秒 [デフォルト]
		オートソース			オフ [デフォルト]
					オン
		入力ソース			HDMI 1
					HDMI 2
					HDMI 3
					ホーム
		入力名		HDMI 1	デフォルト [デフォルト] / カスタム
				HDMI 2	デフォルト [デフォルト] / カスタム
				HDMI 3	デフォルト [デフォルト] / カスタム
				Home	デフォルト [デフォルト] / カスタム
		高地モード			オフ [デフォルト]
					オン
		ディスプレー モードロック			オフ [デフォルト]
					オン
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
		信号表示			オフ [デフォルト]
					オン
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ロゴ無し

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	オプション	背景色			なし [ビデオ/ Pro-AV のデフォルト]
					青 [データモデルのデフォルト]
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
		初期状態に リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
		Android Reset			キャンセル [デフォルト]
					OK
情報	制御				
	シリアル番号				
	入力源				
	解像度				00x00
	リフレッシュレート				0.00Hz
	ディスプレー モード				
	Light Source Hours				1hr. 0min.
	プロジェクターID				00 ～ 99
	ブライトネス モード				
	FW バージョン	システム			C01
		Android			S02
		MCU			M01
	MACアドレス				

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

映像設定メニュー

ディスプレーモード

さまざまな画像タイプに最適化されたいくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ**： 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **HDR**：他のディスプレーモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。
  注記： *このモードは、HDR が自動に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードがアクティブな間、他のすべてのディスプレーモードはグレー表示されます。*
- **HLG：**他のディスプレーモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイブリッドログ (HLG)コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。
  注記：
  - *HDR が自動設定されている場合 (および HLG コンテンツがプロジェクタに送信される場合)、このモードは自動的に有効になります。HLG モードがアクティブな間、他のすべてのディスプレーモードはグレー表示されます。*
  - *HDMI1 と HDMI2 のみが HLG をサポートします。*
- **HDR SIM.：**ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。
  注記：*このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。*
- **ゲーム：** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。
  注記：*このディスプレーモードは、HDR ビデオコンテンツを表示したり、HDR ゲームをプレイしたりする場合は使用できません。低入力遅延を有効にするには、PC またはコンソールが HDMI1 に接続されていることを確認し、拡張ゲームモードを有効にしてください。*
- **リファレンス**：このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **ブライト**： このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **ユーザー**： ユーザー定義の設定を記憶し、独自のディスプレーモード設定を調整します。
- **3D：** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
  注記： *3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。*
  詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。
- **ISF Day：**日中の表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。
- **ISF Night**：夜間の表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。
- **ISF 3D：** 3D 表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。
  注記：
  - *ISF モードは専門的に校正する必要があります。ISF モードをロック解除してアクセスするには、リモートまたはキーパッドを使用して次のコードを入力する必要があります: 電源 > 上 > 下 > 上 >上 。*
  - *ISF モードは、ビデオモードでのみ使用できます。*
  - *HDR または HLG が有効になっている場合、シネマ、ゲーム、リファレンス、ブライト オプションはグレー表示されます。*

プロジェクターを使用する

壁色補正

この機能を使用すると壁の色に応じて最適な映像が得られます。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注記： *正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。*

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

- **HDR/HLG**
  - **オフ：** HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。
  - **自動：**HDR 信号を自動検出します。
- **HDR モード**
  - **ブライト：**このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
  - **標準：** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
  - **フィルム：**このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
  - **詳細：**最高のカラーマッチングと最高レベルの詳細を実現するために、信号は OETF 変換に由来します。
- **HLG Picture Mode**
  - **ブライト：** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
  - **標準：** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
  - **フィルム:**このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
  - **詳細：**最高のカラーマッチングと最高レベルの詳細を実現するために、信号は OETF 変換に由来します。
- **HDR Brightness**
  - HDR の輝度レベルを調整します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム：** ホームシアター用。
- **ビデオ：** ビデオまたは TV ソース用。

- **グラフィック：**PC/写真ソース用。
- **標準 (2.2)：** 標準化された設定用。
- **1.8/2.0/2.4/2.6：** 特定の PC/写真ソース用。2.4 と 2.6 は、ビデオコンテンツやゲームにも使用でき、より深いコントラストを実現できます。
- **3D：** 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。
  注記：これらのオプションは、3Dモード機能が無効の場合にのみ使用できます。3Dモードでは、ガンマ設定に対して、"3D"のみを選択できます。

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™：**新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度：**Warm、標準、クール、Cold から色温度を選択します。
- **カラーマッチング：** 次のオプションを選択します:
  - 色の濃さ： 画像の赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、白 (W) レベルを調整します。
  - 色あい： 赤と緑のカラーバランスを調整します。
  - 彩度：ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
  - ゲイン：画像の明るさを調整します。
  - リセット：カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る：カラーマッチングメニューを閉じます。
- **RGB ゲイン/バイアス：**この設定では画像の明るさ (ゲイン) およびコントラスト (バイアス) を構成できます。
  - リセット: RGB ゲイン//バイアスを工場出荷時デフォルト値に戻します。
  - 戻る：RGB ゲイン//バイアス メニューを閉じます。
- **カラースペース (HDMI 入力 1 のみ)：** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。自動、RGB (0 ～ 255)、RGB (16 ～ 235)、YUV。
- **カラースペース (HDMI2/ホーム/コンポーネントのみ)：**以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。自動、RGB (0 ～ 255)、RGB (16 ～ 235)。

注記： *ソースが HDMI3 の場合、カラースペース機能はサポートされません。*

ブライトネスモード

ブライトネスモード設定を調整します。

- **ダイナミックブラック：**最適なコントラスト性能が得られるよう、画像輝度を自動調整します。
- **エコ：「エコ」**を選択するとプロジェクターの光源の光量を減らして、電力消費を低減し、光源の寿命を延ばすことができます。
- **定電力モード：**ブライトネスモードの消費電力パーセンテージを選択します。
- **定輝度モード：** コンスタント照度は、LED輝度の強度を調節して、時間経過に対しての輝度を一定に保ちます。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

Enhanced Gamingメニュー（強化されたゲーム）

この機能を使って、ゲームの最中にシステムが反応時間 (入力遅延) を減少させることを有効/無効化します。

注記：強化されたゲーム機能をオンにすると、3D、アスペクト比、キーストン、4コーナー、ズーム、スクリーンタイプは利用できません。

- ***オン：****画像の遅延を低減して画像が同時に表示されるようにします。*
- ***オフ：****遅延の低減はありません。*
  - *HDMI1 のみをサポートします。*
  - ** 4.5 ミリ秒は、ゲーミング PC を介した 1080p 240Hz 信号のみをサポートします。*
  - *信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。*
  - *表の値は若干変動する場合があります。*

ソースタイミング	強化されたゲーム	出力	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p60	1080p	17ms
1080p120	オン	1080p120	1080p	8.6ms
1080p240	オン	1080p240	1080p	4.4ms
4K60	オン	4K60	4K	16.9ms
1080p60	オフ	1080p60	1080p	33.8ms
1080p120	オフ	1080p120	1080p	17ms
1080p240	オフ	1080p240	1080p	8.6ms
4K60	オフ	4K60	4K	33.7ms

- *「Enhanced Gaming」モードが有効になっている場合、3D、アスペクト比、ズーム、イメージシフトおよびジオメトリ補正 機能は自動的に無効になります。予めご了承ください。「Enhanced Gaming」モードを無効にすると、これらの機能と設定が復元されます。*

3D メニュー

3D モード

このオプションを使って、3D モード機能を有効/無効にします。

3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

アスペクト比メニュー

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します。

- **4:3：**この形式は、4:3 入力ソース用です。
- **16:9/21:9/32:9：**ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9/21:9/32:9 入力用です。
- **V-stretch：**このモードでは、2.35:1 画像が垂直方向に引き伸ばされ、黒いバーが削除されます。
- **Full screen**： この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、16:9 および2.35:1 アスペクト比の映画を表示します。
- **自動：** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記：

- *垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:*
  - *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16:9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチ モードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます。*
  - *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチ モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16:9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます。*

プロジェクターを使用する

- *全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います。*
  a) *画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。*
  b) *「全画面表示」フォーマットを選択します。*
  c) *プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。*

4K UHD スケーリングテーブル：

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4:3	2880 x 2160 に調整します。				
16:9	3840 x 2160 に調整します。				
LBX	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します。				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。 サイズ変更は行われません。表示される解像度は、入力ソースに依存します。				
自動	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 である場合、画面タイプは自動的に 3600 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				

自動マッピングルール：

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

プロジェクターを使用する

ズームメニュー

ズーム

スクリーンに投写された画像を縮小または拡大するために使用します。

注記： *ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。*

映像移動調整メニュー

映像移動調整

投写される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

注記: *水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。*

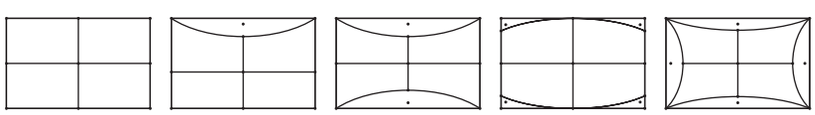
ジオメトリ補正メニュー

ジオメトリ補正

- **4コーナー：** この設定により、投写面が水平でない場合に、投写画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

  注記: *4コーナーを調整している間、ズーム、アスペクト比、イメージシフトメニューは無効になります。ズーム、アスペクト比、イメージシフトを有効にするには、4コーナー設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。*

- **水平キーストン：**画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **垂直キーストン：**画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **自動キーストン：**プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる画像のゆがみを自動的に調整します。
- **3x3 ワープ：**9 点補正で画像の歪みを調整します。



- **リセット：**ジオメトリ補正の設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

注記： *拡張ゲームモードを使用する場合、設定が入力遅延に影響を与えるため、4 コーナー、水平キーストン、垂直キーストン、3x3 ワーピングは無効になります。入力遅延を小さくするために拡張ゲームモードを使用する場合は、4コーナー、水平キーストン、垂直キーストン、3x3 ワーピングを使用せずにプロジェクターを設定することを強くおします。*

Pure Motionメニュー

Pure Motion

ピュアモーションは、高度なフレーム補間技術を使用して、高速アクションシーケンスでも、モーションブラーや画像ジャダーを排除します。モーションスムージングのさまざまなレベルについて、オフ、1、2、3 から選択します。

注記： *PureMotion は、ソースが HDMI3 の場合にのみサポートされます。*

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

Audio Mode

適切なオーディオモードを選択します。

注記：

- *選択したオーディオモードは、すべてのソースに適用されます。*
- *プロジェクターは、スピーカー/オーディオ出力モードを自動的に検出します。*
- *eARC 機能は、ソースが HDMI1 (IT6807) の場合にのみサポートされます。*
- *現在の入力オーディオフォーマットが PCM でない場合、オーディオモードが変更された後、システムは再同期します。*

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ：**「オフ」を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン：**「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注記： *ミュート機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

音量

音量レベルを調整します。

Didital Output Format

適切なデジタル出力フォーマットを選択します。

注記：

- *デジタル出力フォーマットは、オーディオモードが SPDIF / eARC に設定されている場合にのみ選択できます。*
- *デジタルオーディオモードは、ソースが HDMI3 (848) の場合にのみサポートされます。*

オーディオディレイ

内部スピーカーのオーディオ遅延を選択します。

注記：

- *デジタル出力フォーマットは、オーディオモードが SPDIF / eARC に設定されている場合にのみ選択できます。*
- *デジタルオーディオモードは、ソースが HDMI3 (848) の場合にのみサポートされます。*

プロジェクターを使用する

設定メニュー

設置モード

フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部からお好みの投写方法を選択します。

電源設定

電源設定を構成します。

- **電源検知オートパワーオン：**[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。
- **信号検知オートパワーオン：** [オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

  注記：
  - *この機能は VGA および HDMI ソースに適用されます。*
  - *信号検知オートパワーオンは、一度に 1 つの HDMI ポートにのみ使用できます。プロジェクターに複数のソースデバイスが接続されている場合、信号検知オートパワーオンは機能しません。 信号検知オートパワーオンの状態で、複数のソースデバイスを使用する場合は、HDMI スイッチを使用してください。*
- **タイマー電源オートパワーオフ(分)：**カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
- **スリープタイマー (分)：** スリープタイマーを設定します。
  - スリープタイマー (分): カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

  注記：*スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*
  - 常にON： スリープタイマーが常にONに設定されていることを確認します。
- **電源モード (スタンバイ)：** 電源モードを設定します。
  - アクティブ (SmartHome)： [アクティブ (SmartHome)] を選択すると通常スタンバイに戻ります。
  - エコ： 「エコ」を選択すると、節電モードになります。 (< 0.5W)。
- **USB Power(Standby)：**プロジェクターがスタンバイモードのとき、USBパワー機能を有効または無効にします。

セキュリティ

セキュリティ設定を構成します。

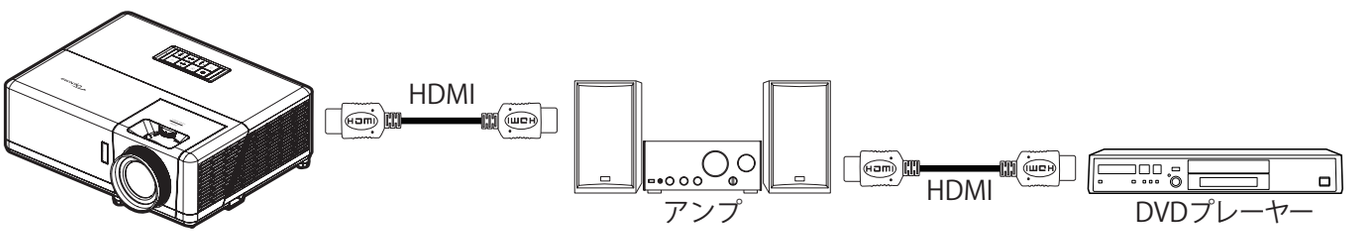
- **セキュリティ：**プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、 この機能を有効にします。
  - オフ: [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。
  - オン: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。

  注記：*デフォルトのパスワードは「1234」です。*
- **セキュリティタイマー：** 時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。
- **パスワード変更：**プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

プロジェクターを使用する

HDMI Link設定

注記： *HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクターに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。*



- **HDMI Link：** HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。
- **モニター連動：** 設定が「はい」に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。
- **電源オン設定：** CEC 電源オンコマンド。
  - 双方向設定： プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオンになります。
  - プロジェクター→機器： プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
  - 機器→プロジェクター：CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。
- **電源オフ設定：** この機能を有効にして、HDMI Linkとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

テストパターン

テストパターンを緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白のグリッド、白から選択するか、この機能を無効にします (オフ)。

リモコン設定

- **リモコン受光設定：** リモコン受光設定を行います。
  - オン： [オン] を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
  - オフ： [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

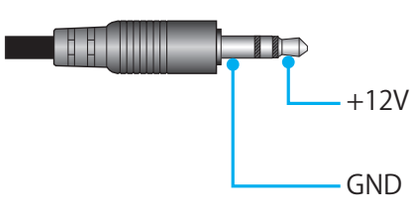
プロジェクター ID

ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

12V トリガメニュー

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注記： *リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。*



- **オン：**「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- **オフ：**「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

プロジェクターを使用する

オプションメニュー

プロジェクターのオプションを構成します。

言語
多言語OSDメニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語およびロシア語から選択します。

メニュー設定

スクリーン上でのメニュー位置を設定、メニュータイマーも設定します。

- **メニュー位置：** スクリーン上に表示されるメニュー位置を選択します。
- **メニュータイマー：** OSD メニューが画面に表示される時間を設定します。

オートソース
このオプションを選択すると、プロジェクターが利用可能な入力ソースを自動検出します。

入力ソース
入力ソースを HDMI1、HDMI2、HDMI3、Homeから選択します。

入力名
簡単に判別できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは HDMI1、HDMI2、HDMI3、Homeです。

高地モード
「オン」が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

ディスプレーモードロック
「オン」または「オフ」を選択し、表示モードのロックまたはロック解除を行います。

キーパッドロック
キーパッドロック機能が「オン」の場合、キーパッドはロックされます。それでも、プロジェクターはリモコンで操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

信号表示
情報メッセージを非表示にする機能です。

- **オフ：** 「オフ」を選択すると、「検索中」 メッセージが表示されます。
- **オン：** 「オン」 を選択すると、「情報メッセージ」が非表示になります。

ロゴ
この機能を使用して、必要なスタートアップ画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト：**デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し：**起動画面でロゴは表示されません。

背景色
この機能を使って、利用可能な信号がないとき、青、赤、緑、グレー、なし、ロゴの表示画面にします。
注：背景色が「なし」に設定されると、背景色はブラックとなります。

リセットメニュー

プロジェクターをリセットします。

OSDをリセット
OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

初期状態にリセット
すべての設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

Android Reset
Android 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

以下のリストにあるプロジェクター情報を表示されます。

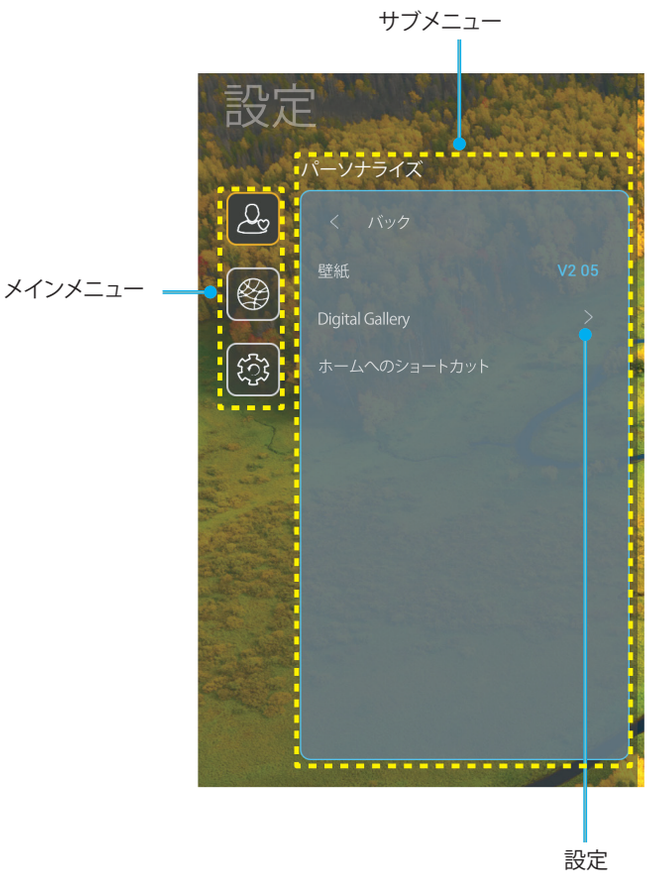
- 制御
- シリアル番号
- 入力源
- 解像度
- リフレッシュ レート
- ディスプレーモード
- Light Soure Hours
- プロジェクター ID
- ブライトネスモード
- FW バージョン
- MAC アドレス

プロジェクターを使用する

システム設定メニュー

ホーム画面で、システム設定メニュー「⚙」を選択し、さまざまなシステム設定を構成してください。

一般的なメニューのナビゲーション



1. システム設定メニューが表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定ページで選択している間に、リモコンの「**OK**」または「**右**」ボタンを押して、サブメニューに入ってください。
2. 「**左**」および「**右**」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「**OK**」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「**上**」および「**下**」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「**OK**」または「**右**」ボタンを押して、選択したサブメニュー項目設定にアクセスしてください。
5. 「**上**」、「**下**」、「**左**」、「**右**」ボタンを押して、設定を選択するか、「**左**」および「**右**」ボタンを押して、値を調整してください (必要に応じて)。
6. 「**OK**」を押して、設定を確認してください。
7. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
8. 終了するには、「⮌」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。設定メニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

プロジェクターを使用する

システム設定メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
パーソナライズ	壁紙	Optoma スタイル…		
	ホームへのショートカット	ショートカット 1		アプリ/入力ソース
		ショートカット 2		アプリ/入力ソース
		ショートカット 3		アプリ/入力ソース
		ショートカット 4		アプリ/入力ソース
		ショートカット 5		アプリ/入力ソース
		ショートカット 6		アプリ/入力ソース
	Digital Gallery	Digital Gallery		オフ
				オン
		Start after		3mins
				5mins
				10mins
				15mins
ネットワーク	ワイヤレス	Wi-Fi		オフ
				オン [デフォルト]
		利用可能なネットワーク SSID (Wi-Fi がオンであるとき)	[Wi-Fi 名] のパスワードを入力する (パスワードを入力するとき)	[ポップアップダイアログ] - タイトル: [Wi-Fi 名] のパスワードを入力する - 字幕: パスワード - 入力:(テキストの入力) - チェックボックス: パスワードを表示 - ボタン:[**キャンセル**]/[**OK**]
			インターネット接続	
			IP アドレス	
			MAC アドレス	
			信号強度	
			プロキシ設定	なし
				手動 [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効なホスト名を入力してください。字幕: プロキシホスト名 入力ヒント: proxy.example@com ボタン:[**キャンセル**]/[**OK**]
			IP 設定	DHCP
				静的 [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効な IP アドレスを入力してください。 字幕: IP アドレス 入力ヒント:192.168.1.128 ボタン:[**キャンセル**]/[**OK**]
			キャンセル	
			消去	[ポップアップダイアログ] ヒント:[Wi-Fi 名] タイトル: ネットワークを消去 コンテンツ: お使いのデバイスは、このWi-Fi ネ ットワークに参加していません。 ボタン:[**キャンセル**]/[**OK**]

プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値	
ネットワーク	ワイヤレス	その他のオプション	WPSを介して接続		
			WPSを介して接続（PINを入力）		
			新しいネットワークを追加	[ポップアップダイアログ] タイトル: Wi-Fiネットワークの名前を入力する入力:(テキストの入力) ボタン:[**キャンセル**]/[**OK**]	
				[ポップアップダイアログ] コンテンツ: セキュリティのタイプ ボタン:なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAP	
			ポータブルホットスポット	ポータブルWi-Fiホットスポット	オフ
					オン
				ネットワーク名	[ポップアップダイアログ] タイトル: ネットワークの名前を変更する 入力:(テキストの入力) ボタン:[**キャンセル**]/[**OK**]
				セキュリティ	[ポップアップダイアログ] タイトル: セキュリティのタイプ ボタン:なし,, WPA2 PSK
				パスワード	[ポップアップダイアログ] タイトル: パスワード変更 入力:(テキストの入力) 説明: パスワードは最小8文字にしてください。 チェックボックス: パスワードを表示 ボタン:[**キャンセル**]/[**OK**]
	イーサネット	ネットワーク情報			(読み取り専用)
		MAC アドレス			(読み取り専用)
		プロキシ設定	なし		
			手動	プロキシホスト名	
				ポート	
				バイパスプロキシドメイン	
		IP 設定	DHCP		
			静的	IP アドレス	
				ゲートウェイ	
				ネットワーク プレフィックスの長さ	
				DNS1	
				DNS2	
		リセット			

プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
システム	キーボード			
	日付および時刻	タイムゾーンを設定		-12:00、-11:00、-10:00、-09:30、-09:00、-08:00、-07:00、-06:00、-05:00、-04:00、-03:30、-03:00、-02:00、-01:00、00:00、+01:00、+02:00、+03:00、+03:30、+04:00、+04:30、+05:00、+05:30、+05:45、+06:00、+06:30、+07:00、+08:00、+08:30、+8:45、+09:00、+09:30、+10:00、+10:30、+11:00、+12:00、+12:45、+13:00、+14:00
		サマータイム		オン
				オフ [デフォルト]
		24 時間形式を使用		オン
				オフ [デフォルト]
	システム更新			
	内部ストレージ			
	法的	利用規約および条件		
		プライバシー ポリシー		
		クッキーポリシー		
		Open Sauce License		
コントロール	LAN制御	スマートホーム		オフ [デフォルト]
				オン

注記：

- *機能は、モデル定義により異なります。*
- *スマートホームを無効にすると、Alexa スマートホームまたは Google アクションの「電源オン」コマンドを使用してプロジェクターの電源をオンにする機能が無効になります。*
  (例: Alexa、プロジェクターの電源を入れて)。

プロジェクターを使用する

メニューのパーソナライズ



ホームショートカット

各入力ソースで、開いたすべてのアプロのホーム画面のショートカットを確認してください。「自動」オプションの場合を除き、項目を繰り返すことはできません。つまり、システムは、開かれた最新の最大 6 つのアプリを記憶し、アプリのショートカットを置き換え、アプリリストの中で、最後のアプリが最初のアプリになり、リスト内の他のアプリが1つの位置にシフトすることを意味します。

スクリーンセーバー

プロジェクターが長時間アイドル状態の場合、画面をブランクにします。

- **スクリーンセーバー：** 「オン」 を選択して、スクリーンセーバー機能を有効にします。
- **後に開始：** スクリーンセーバー機能を有効にするまでの待ち時間を設定します。

プロジェクターを使用する

ネットワークメニュー



ワイヤレス

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

- **Wi-Fi：**Wi-Fi オプションを「オン」に設定して、ワイヤレスネットワーク機能を無効にします。
- **利用可能なネットワーク：**目的のワイヤレスアクセスポイントを選択し、例えば、パスワード、プロキシ設定、IP アドレスなどの必要な接続パラメータを入力または構成してください (必要に応じて)。情報につちえ、信号強度を確認できます。
  設定を保存せず、ネットワークメニューに戻るには、「キャンセル」を選択してください。ワイヤレスネットワークプロファイルを削除するには、「消去」を選択してください。
  注記：*記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。*

- **その他のオプション：**WPSを介して接続」、「WPSを介して接続 (PINを入力) 」、「新しいネットワークを追加 」(ネットワーク名を手動で入力します)、「ポータブルホットスポット」(他のデバイスに対するワイヤレスアクセスポイントとして動作するように、プロジェクターを構成します) などの詳細ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

イーサネット

有線ネットワーク設定を構成します。

注記：*必ず、プロジェクターをローカルエリアネットワーク (LAN) に接続してください。15 ページ を参照してください。*

- **ステータス：**ネットワーク接続状態を表示します (読み取り専用)。
- **MAC アドレス：**MAC アドレスを表示します (読み取り専用)。
- **プロキシ設定：**必要に応じて、プロキシホスト名、接続ポート、バイパスプロキシドメイン情報を手動で入力してください。
- **IP 設定：**プロジェクターにネットワークから、IP アドレスやその他の接続パラメーターを取得させる場は、DHCP を有効にしてください。IP アドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックス長、DNS パラメーターを手動で割り当てる場合は、DHCP を無効にしてください。
- **リセット：**ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

システムメニュー



キーボード

キーボード言語を選択してください。

日付および時刻

日時設定を構成してください。

- **タイムゾーンを選択：**タイムゾーンを選択してください。
- **夏時間：**お住まいの地域で夏時間が採用されている場合は、「オン」に設定してください。
- **24 時間形式を使用：**24 時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「オン」に設定してください。12 時間フ ォーマット (AM/PM) で時刻を表示する場合は、「オフ」に設定してください。

システム更新

プロジェクターがインターネット (OTA) に接続されるとき、システムは、更新を自動的に検索します。

内部ストレージ

残りの内部ストレージの空き容量を表示します。

法的

「利用規約」、「プライバシー ポリシー」、「クッキーに関するポリシー」を含む法的文書を確認してください。

注記： *オンラインでも法的文書を確認できます。次の Web アドレスを参照してください。*

- *利用規約: https://www.optoma.com/terms-conditions/。*
- *クッキーに関するポリシー: https://www.optoma.com/cookies-policy/。*
- *プライバシー ポリシー: https://www.optoma.com/software-privacy-policy/。*
- *オープンソースライセンス*

コントロールメニュー

LAN制御

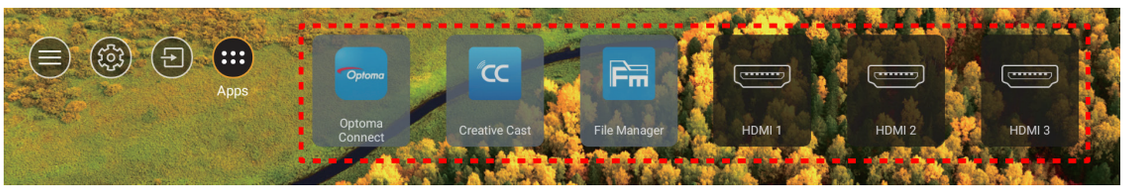
- **スマートホーム**：「オフ」に設定して、「IoT」を経由して、「InfoWall」を含む、すべてのコントロールをオフにします。

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

入力ショートカットを使用して、ホーム画面上で直接入力ソースを選択できます。

注記： *ショートカット設定を「システム設定メニュー → パーソナライズ → ホームショートカット」でパーソナライズできます。また、ホーム画面上のショートカットの順序を変更できます。*



希望の入力ソースが、ホーム画面上に表示されない場合は、「 」を選択して、すべての入力オプションを表示してください。次に、入力ソースを選択するか、「ホーム」を選択して、ホーム画面に戻ってください。

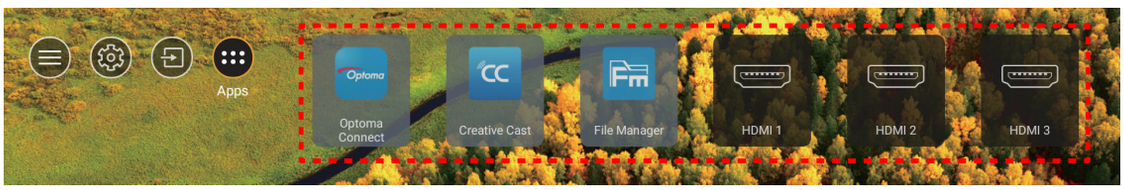


プロジェクターを使用する

アプリの選択

アプリショートカットを使用して、ホーム画面上で直接アプリを選択できます。

注記: *ショートカット設定を「システム設定メニュー → パーソナライズ → ホームショートカット」でパーソナライズできます。*



希望のアプリが、ホーム画面上に表示されない場合は、「」を選択して、すべてのインストール済アプリを表示してください。次に、希望のアプリを選択してください。



プロジェクターを使用する

Creative Cast

アプリを入手するには、次のいずれかを実行してください。

- モバイルデバイスを使用している場合は、画面上の QR コードをスキャンしてください。
- コンピューターを使用している場合は、リンクにアクセスしてください。

次に、Creative Cast アプリをコンピューターまたはモバイルデバイスにインストールしてください。

開始する前に、コンピューターまたはモバイルデバイスをプロジェクターと同じ Wi-Fi に接続してください。
次に、画面の指示に従ってアプリを操作してください。



注記： *iOS 画面ミラーリング機能を最初にアクティブ化するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してから、Creative Cast アプリを起動してください。この初期手順を実行する必要があるのは1回だけです。初期接続が確立された後は、iOS 画面ミラーリング機能を後で使用するために Creative Cast アプリを開く必要はありません。*

プロジェクターを使用する

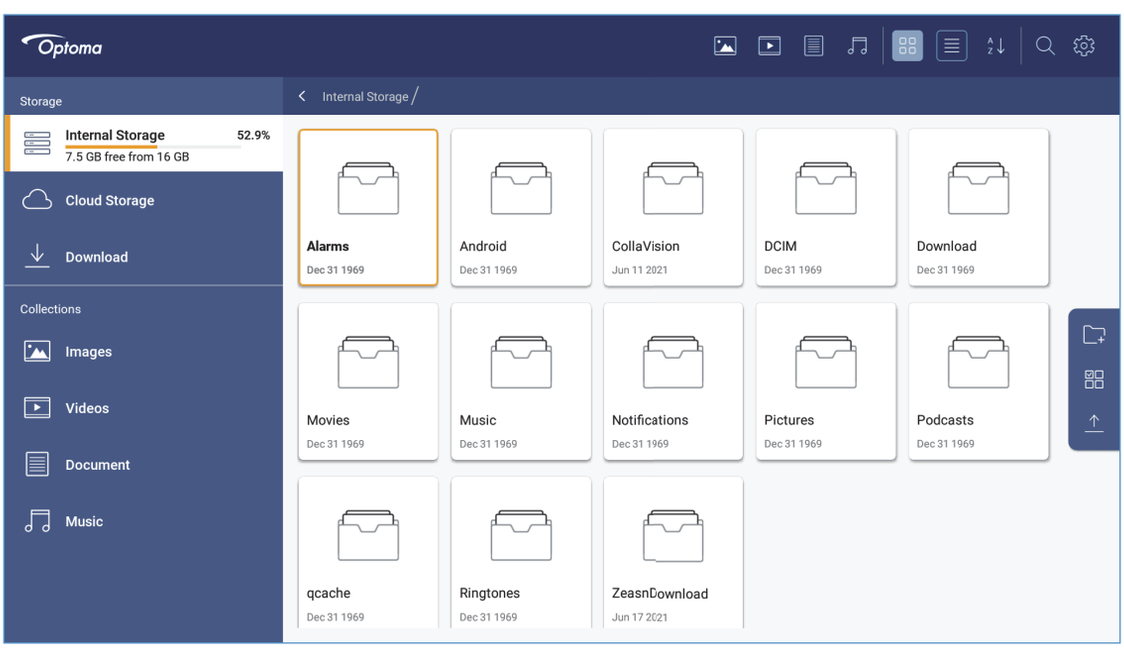
Optoma Marketplace

Optoma Marketplace アプリを使用すると、任意のアプリを検索してインストールできます。



File Manager

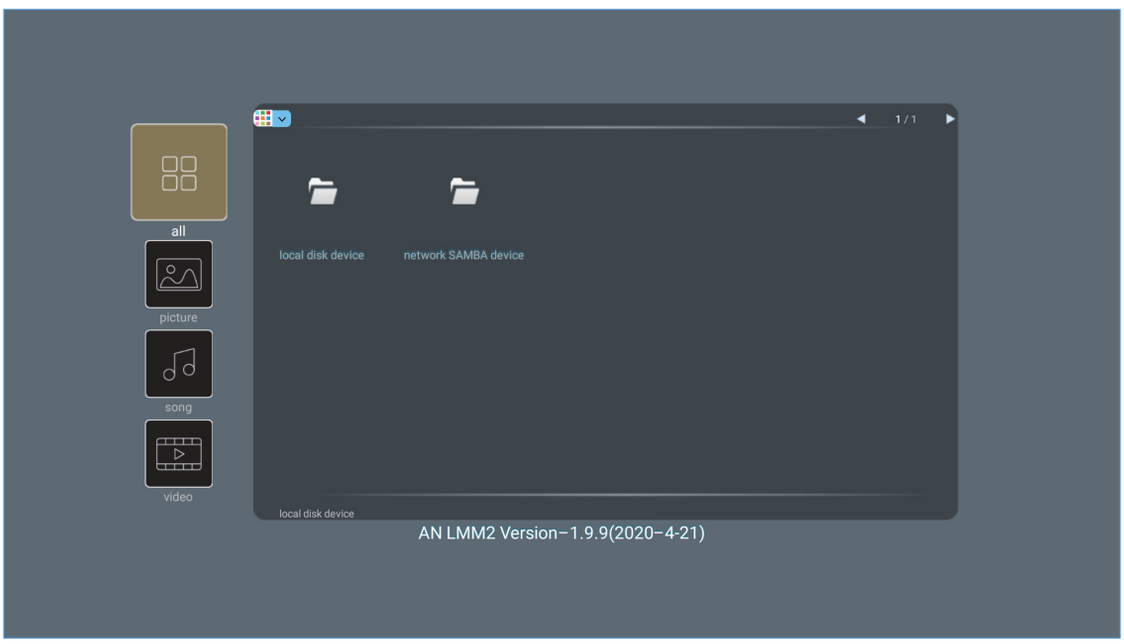
File Manager アプリを使用すると、内部ストレージ、外部ストレージ、クラウドストレージに保存されているファイルを管理することができます。



プロジェクターを使用する

メディア

メディアアプリを使用すると、マルチメディアコンテンツの入った USB ストレージをプロジェクターに接続することで、マルチメディアファイルを再生することができます。次に、マルチメディアプレーヤーアプリを開き、再生する希望のファイルを選択してください。



プロジェクターを使用する

サポートするマルチメディア形式

マルチメディアファイルを再生する場合は、マルチメディアコンテンツを含む USB ストレージをプロジェクターに接続してください。次に、マルチメディアプレーヤーアプリを開き、再生する希望のファイルを選択してください。プロジェクターは、次のマルチメディア形式をサポートしています。

メディアカテゴリ	デコーダー	サポートするファイル形式
ビデオ	H.263	MOV
		3GP
		AVI
		MKV
	H.264	FLV
		MP4
		MOV
		3GP
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		ASF
		WMV
		AVI
		MKV
	HEVC/H.265	MP4
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MKV
	MPEG1/2	MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MP4
		AVI
		MKV
	MPEG4	MP4
		MOV
		3GP
		AVI
		MKV
	Motion JPEG	AVI
		MP4
		MOV
	AVS	MP4
	VC1	WMV

プロジェクターを使用する

メディアカテゴリ	デコーダー	サポートするファイル形式
オーディオ	MPEG1/2 Layer2	AVI
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	MPEG1/2/2.5 Layer3	MP3
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
	MPEG1/2/2.5 Layer3	MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	AC3	AC3
		Matroska (MKV、MKA)
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	EAC3	MP4
	AAC、HEAAC	AAC
		MP4
		MOV
		M4A
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
	LPCM	WAV
		AVI
		Matroska (MKV、MKA)
	IMA-ADPCM MS-ADPM	WAV
		AVI
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
	FLAC	Matroska (MKV、MKA)
写真	BMP	15360 x 8640 (最大解像度の制限は DRAM サイズに依存します)

注記：

- *上記のすべてのマルチメディアファイル。*
- *ビデオファイルからのドルビー出力はサポートされません。*

画像

イメージタイプ (フォーマット)	サブタイプ	最大ピクセル
Jpeg/Jpg	ベースライン	8000 x 8000
	プログレッシブ	6000 x 4000
PNG	ノンインターレース	6000 x 4000
	インターレース	6000 x 4000
BMP		6000 x 4000

プロジェクターを使用する

文書

文書フォーマット	サポートバージョンおよびフォーマット	ページ/行制限	サイズ制限
PDF	PDF 1.0 ～ 1.7 およびそれ以降	最大 1500 ページ (1 つのフ ァイル)	最大 100MB
Word	Kingsoft Writer 文書 (*.wps)	WPS Projector は、一度に MS/Word ファイルを読み込まないので、ファイルのページ数と行数に明らかな制限はありません。	最大 150MB
	Kingsoft Writer テンプレート (*.wpt)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 文書 (*.doc)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.dot)		
	RTF ファイル (*.rtf)		
	テキストファイル (*.txt, *.log, *.lrc, *.c, *.cpp, *.h, *.asm, *.s, *.java, *.asp, *.prg, *.bat, *.bas, *.cmd)		
	Web ページファイル (*.html, *.htm)		
	シングル Web ページファイル (*.mht, *.mhtml)		
	Microsoft Word 2007/2010 文書 (*.docx)		
	Microsoft Word 2007/2010 テンプレート (*.dotx)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効文書 (*.docm)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効テンプレート (*.dotm)		
	XML ファイル (*.xml)		
	OpenDocument テキスト		
	Works 6-9 文書 (*.wtf)		
	Works 6.0&7.0 (*.wps)		
Excel	Kingsoft スプレッドシートファイル (*.et)	行の制限: 最大 65,535 列の制限: 最大 256 シート: 最大 200	最大 30MB
	Kingsoft スプレッドシートテンプレート (*.ett)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 ワークブック (*.xls)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.xlt)		
	テキストファイル (*.csv)		
	Web ページ (*.htm, *.html)		
	XML ファイル (*.xml)		
	Microsoft Excel 2007/2010 ファイル (*.xlsx, *.xlsm)		
	Microsoft Excel 2007/2010 テンプレート (*.xltx)		
	Microsoft Excel 2007/2010 バイナリワークブック (*.xlsb)		
PowerPoint	Kingsoft プレゼンテーションファイル (*.dps)	最大 1500 ページ (1 つのフ ァイル)	最大 30MB
	Kingsoft プレゼンテーションテンプレート (*.dpt)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーション (*.ppt, *.pps)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーションテンプレート (*.pot)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーション (*.pptx, *.ppsx)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーションテンプレート (*.potx)		

注記：

- *複雑な内容の大きなファイルの場合は、デコードに時間がかかることがあります。*
- *ファイルに埋め込まれたオブジェクトをアクティブ化または表示することはできません。*

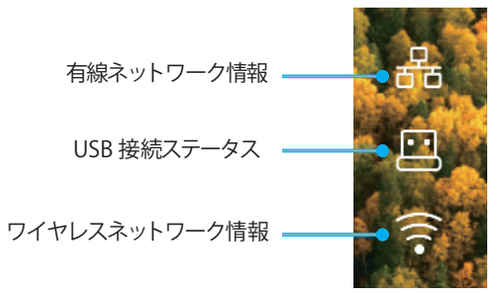
プロジェクターを使用する

- *Microsoft Word の場合*
  – 描画プラグインまたは表の背景設定などの高度な設定はサポートされません。
  – Microsoft Word の定義された枠外の内容は表示されません。
  – 簡体字中国語フォントでの太字テキストをサポートしていません。
- *Microsoft PowerPoint の場合*
  – スライド効果はサポートしていません。
  – パスワードで保護されたシートは保護されません。
  – Powerpoint アニメーションはサポートされません。
- *Microsoft Excel の場合*
  – ワークブックに複数のワークシートがある場合、ワークシートは個別かつ順番に表示されます。
  – ページのレイアウトと番号は、デコード中に変更されることがあります。

プロジェクターを使用する

ステータスバーの表示

デフォルトでは、ホーム画面のステータスバーには、有線ネットワーク、USB、ワイヤレスネットワークに関する接続ステータスを示すアイコンが含まれています。アイコンを選択して、関連するメニューを開くことができます。
有線またはワイヤレスステータスアイコンを選択すると、ネットワーク構成メニューが開きます。
また、USB ステータスアイコンを選択すると、ブラウザーが開き、接続される USB デバイスの内容が表示されます。



Alexa/Google Assistant

このプロジェクターは、Alexa/Google Assistant などの音声制御機能をサポートしています。
ユーザーは「Optoma Connect & Alexa」と「Optoma Connect & Google Assistant」でキーワードを検索し、次のリンクをクリックして Web サイトで Alexa と Google のセットアップガイドを入手できます。

- *Optoma Connect アプリ - Alexa セットアップチュートリアル*
- *Optoma Connect アプリ - Google セットアップチュートリアル*

注記：現在Alexsaセットアップチュートリアルのリンクはご利用いただけません。

追加情報

対応解像度

ビデオの互換性

信号	解像度
SDTV	480i/p、576i/p
HDTV	720p (50/60Hz)、1080i (50/60Hz)、1080p (24/50/60Hz)
UHD	2160p (24/50/60Hz)

ビデオタイミングの詳細：

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	注記
SDTV (480i)	640 x 480	60	コンポーネントの場合
SDTV (480p)	640 x 480	60	
SDTV (576i)	720 x 576	50	
SDTV (576p)	720 x 576	50	
HDTV (720p)	1280 x 720	50/60	
HDTV (1080i)	1920 x 1080	50/60	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24/50/60/240	
WQHD(1440p)	2560x1440	120	
UHD (2160p)	3840 x 2160	24/50/60	4K UHD の場合

コンピューターの互換性

VESA 規格 (コンピューター信号 (アナログ RGB の互換性))：

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	56/60/72	Mac 60/72
XGA	1024 x 768	60/70/75	Mac 60/70/75
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75	Mac 60/75
WXGA	1280 x 800	60	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	Mac 60
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75	Mac 60/75
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200 (*)	60	Mac 60

注記： *(*) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*

追加情報

PC のタイミングテーブル：

信号	解像度	水平周波数	リフレッシュ レート			
		(KHz)	(Hz)	ビデオ	デジタル	注記
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	該当なし	√	56Hz
SVGA	800 x 600	37.9	60.3	該当なし	√	60Hz
SVGA	800 x 600	46.9	75	該当なし	√	該当なし
SVGA	800 x 600	48.1	72.2	該当なし	√	72Hz
SVGA	800 x 600	53.7	85.1	該当なし	√	85Hz
SVGA	832 x 624		75	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	48.4	60	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	56.5	70.1	該当なし	√	70Hz
XGA	1024 x 768	60	75	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	68.7	85	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768		120	該当なし	該当なし	該当なし
SXGA	1152 x 864		75	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720		50	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720		60	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720	92.62	120	該当なし	該当なし	該当なし
WXGA	1280 x 768	47.4	60	該当なし	√	該当なし
WXGA	1280 x 768		75	該当なし	√	該当なし
WXGA	1280 x 768		85	該当なし	√	該当なし
WXGA-800	1280 x 800		60	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	64	60	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	80	75	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	91.1	85	該当なし	√	該当なし
SXGA+	1400 x 1050		60	該当なし	該当なし	該当なし
UXGA	1600 x1200	75	60	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080		24	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080		50	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080		60	該当なし	√	該当なし
WUXGA	1920 x 1200		60	該当なし	√	RB
HDTV	1920 x 1080i		50	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080i		60	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p		24	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p		50	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p		60	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720	45	60	√	該当なし	該当なし
HDTV	1280 x 720p		50	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720p		60	√	√	該当なし
SDTV	720 x 576	31.3	50	√	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 576i		50	該当なし	√	該当なし
SDTV	720 x 576p		50	該当なし	√	該当なし
SDTV	720 x 480	31.5	60	√	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 480i		60	該当なし	√	該当なし
SDTV	720 x 480p		60	該当なし	√	該当なし

注記： *「√ 」は、解像度がサポートされることを意味し、「該当なし」は、解像度が利用できないことを意味します。*

追加情報

コンピューターの互換性 (Mac)

解像度	Hz	Macbook の互換性	Macbook Pro (Intel) の互換性	Power Mac G5 の互換性	Power Mac G4 の互換性
		デジタル	デジタル	デジタル	デジタル
800x600	60	√	√	該当なし	√
800x600	72	√	√	該当なし	√
800x600	75	√	√	該当なし	√
800x600	85	√	該当なし	該当なし	√
1024x768	60	√	√	該当なし	√
1024x768	70	√	√	該当なし	√
1024x768	75	√	√	該当なし	√
1024x768	85	√	√	該当なし	√
1280x720	60	√	√	該当なし	√
1280x768	60	√	√	該当なし	該当なし
1280x768	75	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280x768	85	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
1280x800	60	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280x1024	60	√	該当なし	該当なし	√
1280x1024	75	√	該当なし	該当なし	√
1920x1080	60	√	該当なし	該当なし	√
1920x1200 (*)	60	√	該当なし	該当なし	√
3840 x 2160	60	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

注記：

- *(*) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*
- *「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該当なし」は、解像度が利用できないことを意味します。*

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	6072/85/120	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	60/70/75/85/120	Mac 60/70/75/85
SDTV(480I)	640 x 480	60	
SDTV(480P)	640 x 480	60	
SDTV(576I)	720 x 576	50	
SDTV(576P)	720 x 576	50	
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
WXGA	1280 x 800	60/120	Mac 60
WXGA(*2)	1366 x 768	60	
WXGA+	1440 x 900	60/120(RB)	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60/85	
UXGA	1600 x 1200	60/65/70/75/85	
HDTV(1080I)	1920 x X1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24 /30 /50 /60 /120 /240	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200(*1)	60	Mac 60RB
WQHD	2560 x 1440	60RB/120	

追加情報

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
UHD(2160p)	3840 x 2160	24/30/50/60	Mac 24/30
UHD(2160p)	4096 x 2160	24/30/50/60	Mac 24

注記:

- *(*1) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*
- *(*2) Windows 10 標準タイミング。*

拡張ディスプレイ識別データ (EDID) テーブル

デジタル信号(HDMI 2.0)

デジタルネイティブ解像度：3840 x 2160 @ 60Hz

B0/Established Timing	B0/Standard Timing	B0/Standard Timing	B1/Video Mode	B1/Detail Timing
720 x 400 @ 70Hz	1024 x 768 @ 120Hz	3840 x 2160 @ 60Hz (default)	640 x 480p @ 60Hz 4:3	2560 x 1440 @ 120Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 16:9	1920 x 1080 @ 240Hz (HDMI 1 / HDMI 2)
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 720 @ 120Hz		720 x 480p @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz		1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 56Hz	1440 x 900 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz	1400 x 1050 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 120Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz			2560 x 1080p @ 50Hz 64:27	
1024 x 768 @ 70Hz			2560 x 1080p @ 60Hz 64:27	
1024 x 768 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 30Hz 16:9	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 50Hz 16:9	
			3840 x 2160 @ 60Hz 16:9	
			4096 x 2160 @ 24Hz 256:135	
			4096 x 2160 @ 50Hz 256:135	
			4096 x 2160 @ 60Hz 256:135	

注記： *1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします。*

追加情報

3Dタイミング

Blu-ray 3D の場合 (HDMI 1.4a)：

Input	Timing	Format
HDMI 1 / HDM 2 / HDMI 3	1280 X 720p @ 50Hz	Frame Packing
	1280 x 720p @ 60Hz	Frame Packing
	1920 x 1080p @ 23.98 / 24Hz	Frame Packing
HDMI 3	1280 x 720p @ 50Hz	Top-and-Bottom
	1280 x 720p @ 60Hz	Top-and-Bottom
	1920 x 1080p @ 23.98 / 24Hz	Top-and-Bottom
	1920 x 1080i @ 50(25)Hz	Side-by-Side
	1920 x 1080i @ 60(30)Hz	Side-by-Side

PC の場合：

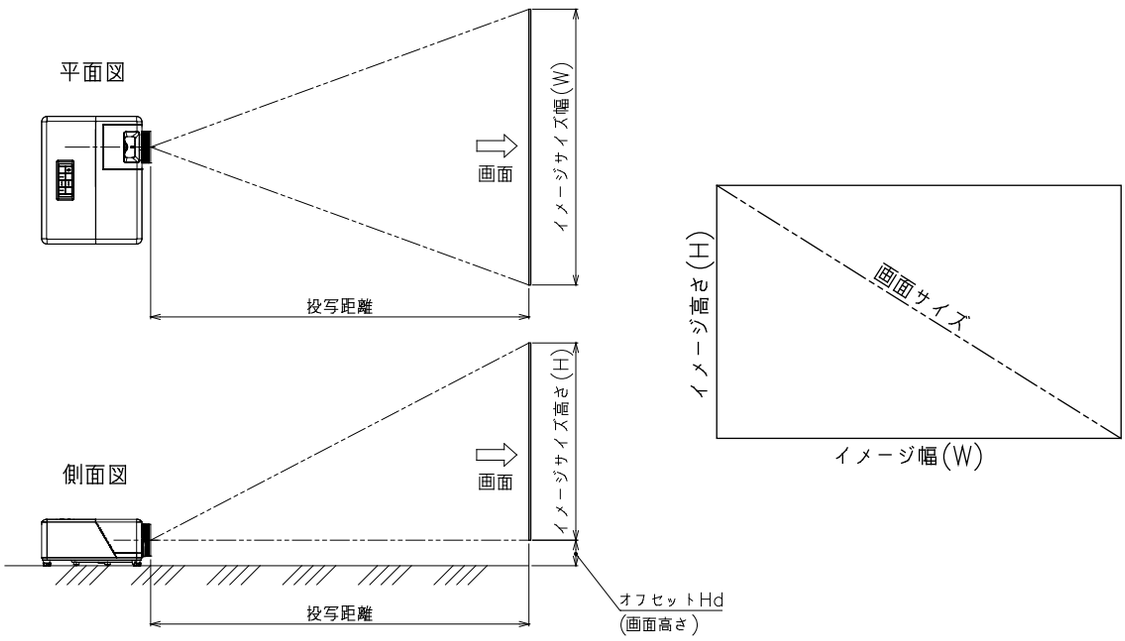
Input	Timing	Format
HDMI 1 / HDM 2 / HDMI 3	800 x 600 @ 120Hz	Frame Sequential
	1024 x 768 @ 120Hz	Frame Sequential
	1280 x 800 @ 120Hz	Frame Sequential
	1920 x 1080 @ 120Hz	Frame Sequential

追加情報

イメージサイズと投写距離 ※1

画面サイズ 4K UHD (16：9)	イメージサイズ(m)		プロジェクターの距離(m) ※1		オフセットHd(m)　最短時※3	
	幅(W)	高さ(H)	最短（ワイド）	最長（テレ）	画面高さ（最小値） ※2	画面高さ（最大値）
34.1	0.755	0.425	0.913	1.200	0.067	0.130
40	0.886	0.498	1.071	1.408	0.067	0.141
50	1.107	0.623	1.339	1.760	0.067	0.160
60	1.328	0.747	1.607	2.112	0.067	0.178
70	1.550	0.872	1.875	2.464	0.067	0.197
80	1.771	0.996	2.143	2.816	0.067	0.215
90	1.992	1.121	2.411	3.168	0.067	0.234
100	2.214	1.245	2.679	3.520	0.067	0.252
110	2.435	1.370	2.947	3.872	0.067	0.271
120	2.657	1.494	3.214	4.224	0.067	0.289
130	2.878	1.619	3.482	4.576	0.067	0.308
140	3.099	1.743	3.750	4.928	0.067	0.326
150	3.321	1.868	4.018	5.280	0.067	0.345
160	3.542	1.992	4.286	5.632	0.067	0.363
170	3.763	2.117	4.554	5.984	0.067	0.382
180	3.985	2.241	4.822	6.336	0.067	0.400
190	4.206	2.366	5.090	6.688	0.067	0.419
200	4.428	2.491	5.357	7.040	0.067	0.437
210	4.649	2.615	5.625	7.392	0.067	0.456
220	4.870	2.740	5.893	7.744	0.067	0.474
230	5.092	2.864	6.161	8.096	0.067	0.493
240	5.313	2.989	6.429	8.448	0.067	0.511
250	5.535	3.113	6.697	8.800	0.067	0.530
260	5.756	3.238	6.965	9.152	0.067	0.548
270	5.977	3.362	7.232	9.504	0.067	0.567
280	6.199	3.487	7.500	9.856	0.067	0.585
290	6.420	3.611	7.768	10.208	0.067	0.604
300	6.641	3.736	8.036	10.560	0.067	0.622
302.4	6.695	3.766	8.100	10.644	0.067	0.626

※1　アスペクト比 4K UHD（16:9）映写時の距離です。
　　投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）
※2　画面高さ（最小値）とは、レンズシフト垂直方向を最も下げた状態のことを指します。
※3　オフセットHdは、設置面の水平度に影響を受けるため、およその値としてください。

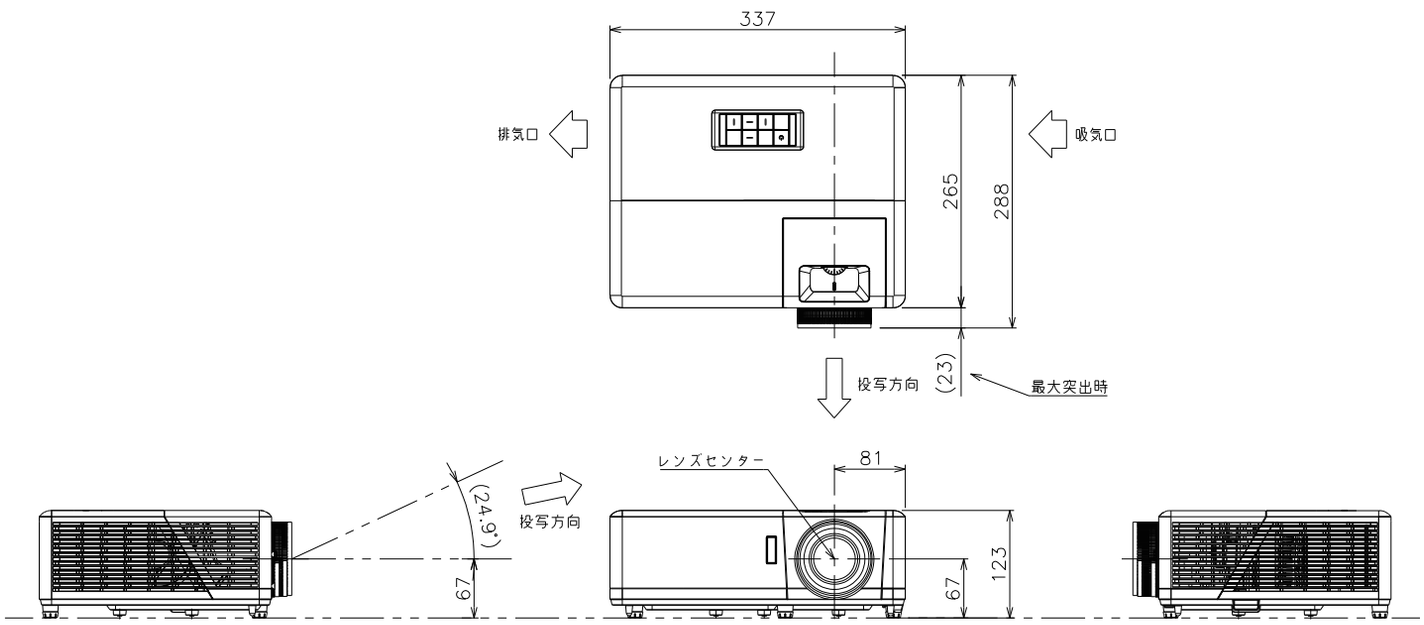


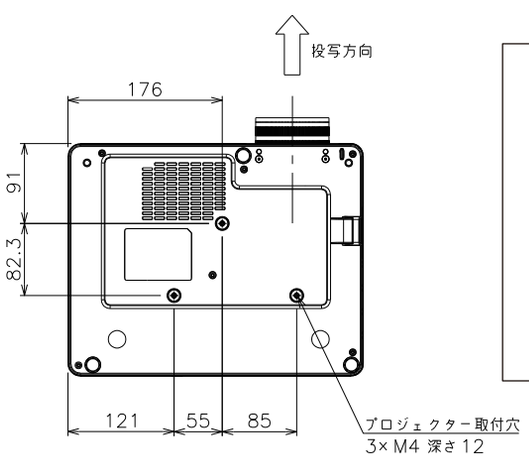
追加情報

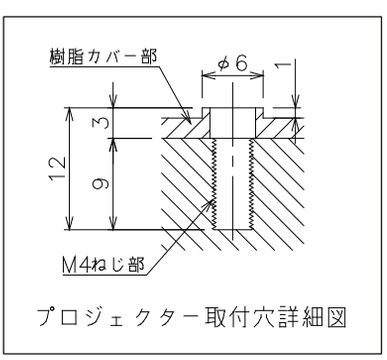
プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずオーエスの天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるねじが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ねじの種類：M4
- ねじ深さ：12mm







プロジェクター取付穴詳細図

単位：mm

注記： *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずねじのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IRリモコンコード



キー		キー番号	MTX.	フォーマット	Data0	Data1	Data2	Data3	説明
電源オン/オフ	⏻	K12	04	F1	32	CD	71	8E	「プロジェクターの電源を入れる/切る」(20 ページ) を参照してください。
ソース		K3	11	F1	32	CD	18	E7	を押して、入力信号を選択します。
ホーム		K13	03	F1	32	CD	92	6D	を押して、ホーム画面に戻ります。
メニュー	☰	K8	17	F1	32	CD	0E	F1	☰ を押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 ☰ を押します。
戻る		K4	10	F1	32	CD	86	79	を押して、前ページに戻ります。
上	▲	K7	18	F2	32	CD	11	EE	▲▼◀▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
左	◀	K14	02	F2	32	CD	10	EF	
右	▶	K5	09	F2	32	CD	12	ED	
下	▼	K2	19	F2	32	CD	14	EB	
入力	Enter	K9	16	F1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
ミュート	×	K15	01	F1	32	CD	52	AD	× を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
ディスプレーモード		K10	15	F1	32	CD	91	6E	を押して、ディスプレーモードメニューを表示します。ディスプレイモードメニューを終了するには、もう一度 を押します。
アプリメニュー	⋮	K6	08	F1	32	CD	25	DA	⋮ を押して、アプリメニューを開きます。
音量 -	−	K11	12	F2	32	CD	0C	F3	− を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	K1	05	F2	32	CD	09	F6	+ を押して、音量を大きくします。

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 「ミュート」 機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターのフォーカスリングで調整してください。（*17* ページ参照）
- 投写画面が必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*65* ページ参照)

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVDまたは 16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクター側から16:9フォーマットで最適な画像を表示します。
- 4:3 フォーマット DVDタイトルを再生している場合は、プロジェクターのOSDで4:3にフォーマットを変更してください。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットを設定してください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり、離したりしてください。
- プロジェクターパネルの「メニュー」を押して、「ディスプレー→アスペクト比」と進みます。異なる設定を試してみます。

画像が横に傾く

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDから 「設定→設置モード] を選択し、投写方向を調整します。

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、「ディスプレーモード」 が 3D でないことを確認してください。

追加情報

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの動作範囲が、プロジェクターの IR レシーバーから水平方向に ±15° 以上、垂直方向に ±10° 以上にあるか確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

警告インジケーター

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

- 「光源」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。これは、プロジェクターが過熱状態になっていることを表します。標準の条件になると、プロジェクターを再度オンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

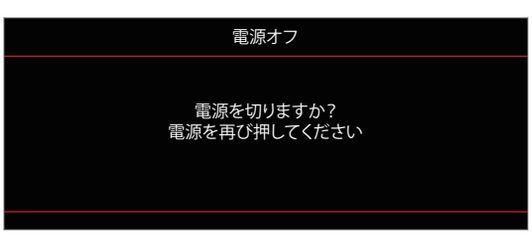
プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケーターが再度、 点灯または点滅した場合は、テクニカルサポートセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

追加情報

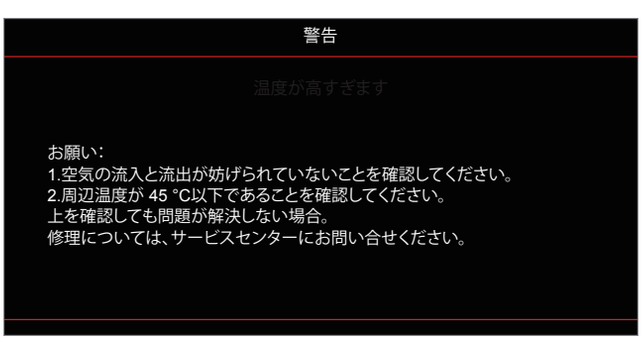
LED 点灯メッセージ

メッセージ	オン/スタンバイ LED		温度 LED	光源 LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オンと光源オン		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン) 冷却ファンがオフに なると、赤の点灯に 戻ります。		
エラー (光源が異常です)	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	
スタンバイ状態 (バーンインモード)		点滅		
バーンイン (警告)		点滅		
バーンイン (冷却中)		点滅		
バーンイン (光源オン)		点滅 (3 秒オン/1 秒オフ)		
バーンイン (光源オフ)		点滅 (1 秒オン/3 秒オフ)		

- 電源オフ：

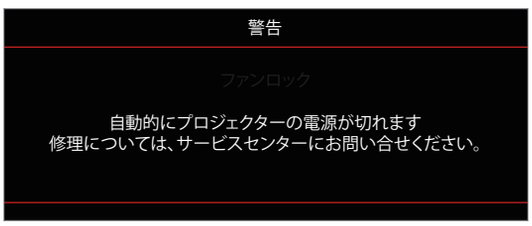


- 温度警告：



追加情報

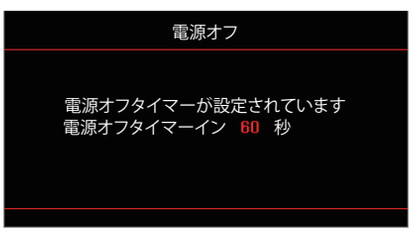
- ファンのトラブル：



- 表示範囲外：



- 電源ダウン警告：



追加情報

仕 様

本体カラー	ブラック
投写方式	DLP®Technology
表示素子	4K UHD（3840×2160）、0.47型 DMD（3840×2160） ※1
HDR信号	HDR10、HLG対応
入力解像度	取扱説明書参照
アスペクト比	16:9 ※2
明るさ	2,600ルーメン（ANSI）
コントラスト比	2,700,000:1
投写レンズ	F=1.94～2.23、 f=12.81～16.74、ズーム1.3倍
光源	レーザー
光源寿命	30,000時間(エコモード)
投写距離	0.913m（34.1型）～8.100m（302.4型） ※3
レンズシフト	マニュアル式 : 垂直方向 100% ～ 110%
キーストン補正	水平±30° ・垂直±30°
コンピューター信号	UHD、FHD、HD、WUXGA、UXGA、SXGA、WXGA+、WXGA、XGA、SVGA、VGA、Mac
ビデオ対応信号	NTSC M/J 3.58MHz, 4.43MHz、PAL B/D/G/H/I/M/N, 4,43MHz、 SECAM B/D/G/K/K1/L, 4.25/4.4MHz 480i/p, 576i/p, 720p(50/60Hz), 1080i(50/60Hz), 1080p(50/60Hz)
入力端子	HDMI（V2.0 (eARC) HDCP2.2 最大4K HDR（3840x2160）/60fps）×1 、 HDMI（V2.0 HDCP2.2 最大4K HDR（3840x2160）/60fps）×2 、 USB-A×2（USB2.0）
出力端子	オーディオ（3.5mmジャック）×1、USB（5V 1.5A）×1、トリガー（12V）×1、 S/PDIF（光デジタルオーディオ出力端子）×1、3D SYNC（同期）×1
コントロール端子	RS-232C×1 、RJ45 ×1
無線機能	付属Wifiドングルにて対応
スピーカー	10W×2（ステレオ）
騒音値	26dB（エコモード）
電源	AC 100V～240V（50/60Hz）
消費電力	276W（ブライトモード）
待機電力	0.5W以下
内部ストレージ	8GB
RoHS指令	適合
VCCI	適合
防塵性能	IP6X
外形寸法 （レンズ部含む）	（W）337mm×（D）288mm×（H）123mm （突起部を含まない）
製品質量	4.7kg
付属品	電源コード、リモコン（CR2032）、Wifiドングル（IEEE 802.11 a/b/g/n/ac）、取扱注意書（QRコード）
梱包寸法	（W）495mm×（D）190mm×（H）380mm
梱包質量	約6.5kg
推奨動作環境	気温 5～40℃、湿度 10～85%(結露無きこと)、標高3000m以下

※ 仕様は予告なしで変更されることがあります。

※1 DMD™/DLP®テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが、UHZ50+（3840x2160）の場合、
829万個以上敷き詰められ、1秒間に9000回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現します。

※2 画面の横と縦の比率です。

※3 アスペクト4K・UHD（16:9）映写時の距離です。 投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

memo

memo

製品保証内容は以下 URL より WEB サイトにてご確認いただけます。

https://www.os-prod.com/products/warranty/

販売元　株式会社オーエスエム

連絡先：株式会社オーエス　テクニカルサポートセンター

〒557-0063　大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL　0120-465-040　FAX　0120-380-496

（受付時間：平日 9：00 ～ 17：50　土日祝日を除く）

E-mail：info@os-worldwide.com

WEB：https://www.optoma.jp